

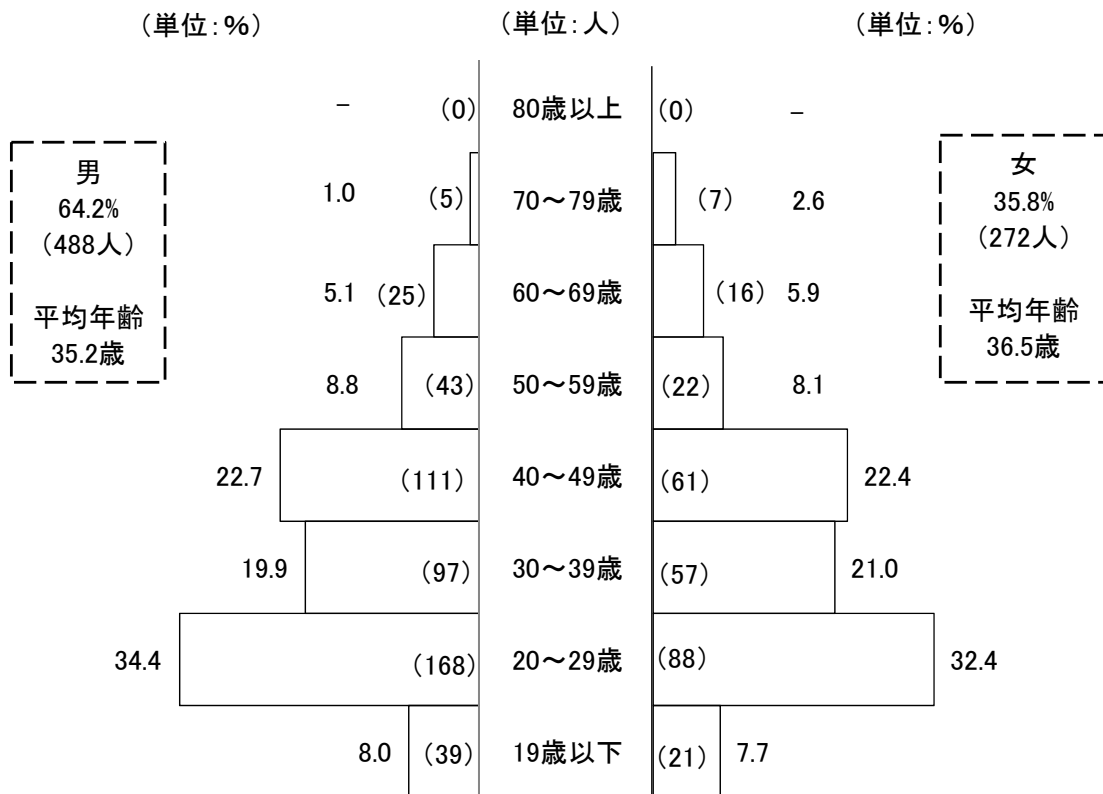
第3章 知的障害者の状況

1 基本的属性

(1) 性・年齢階級

回答者を性別にみると、「男性」は64.2%（488人）、「女性」は35.8%（272人）となっている。年齢階級別にみると、「20代」の割合は、男性では34.4%、女性では32.4%となっている。（図Ⅲ-1-1）

図Ⅲ-1-1 性・年齢階級

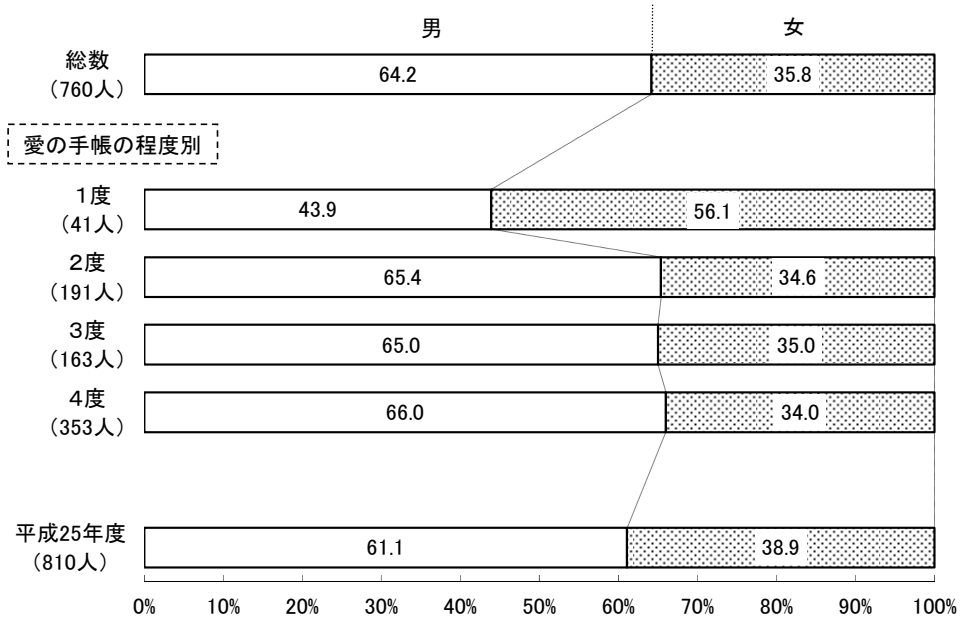


(2) 性別—愛の手帳の程度別

性別を愛の手帳の程度別にみると、1度では「女性」の割合が56.1%となっている。

(図Ⅲ-1-2)

図Ⅲ-1-2 性別—愛の手帳の程度別

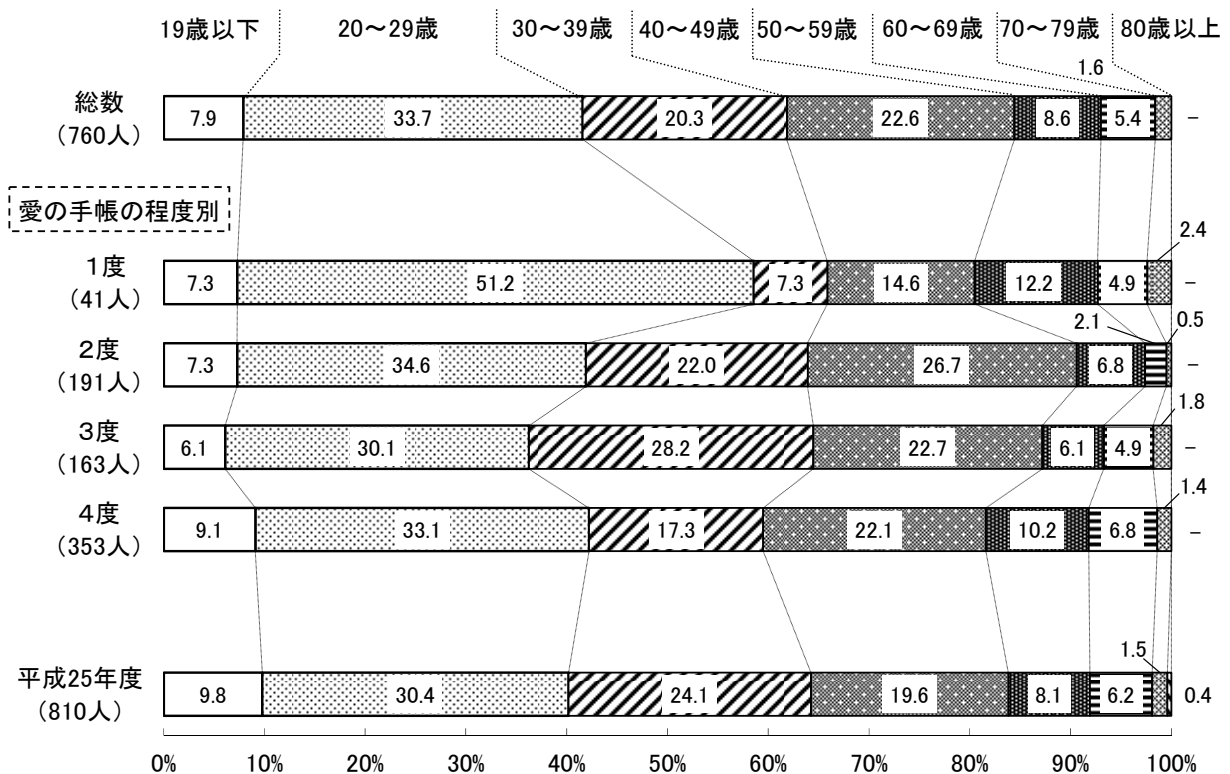


(3) 年齢階級—愛の手帳の程度別

年齢階級は、「20代」の割合が33.7%、「40代」が22.6%、「30代」が20.3%となっている。年齢階級を愛の手帳の程度別にみると、「20代」の割合は、1度では51.2%となっている。

(図Ⅲ-1-3)

図Ⅲ-1-3 年齢階級—愛の手帳の程度別



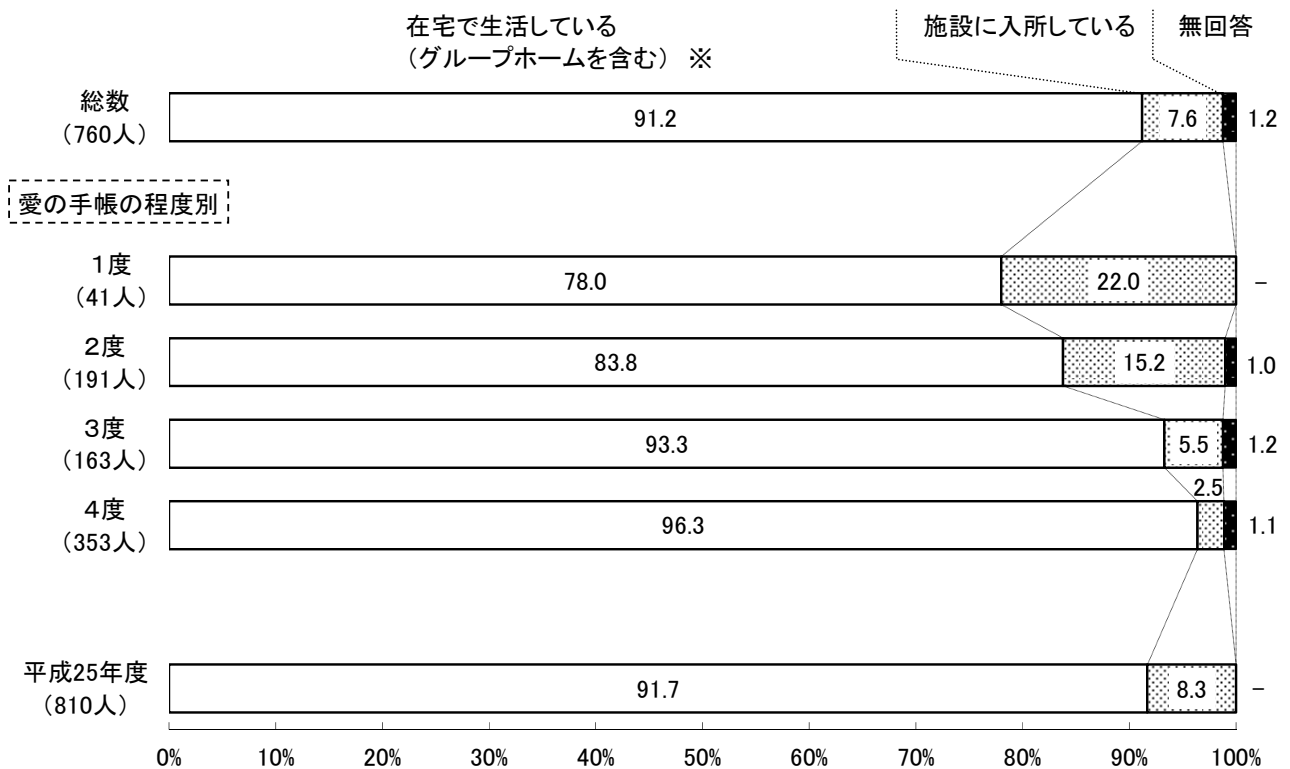
(4) 現在の生活の場－愛の手帳の程度別

「施設に入所している」割合は、1度では22.0%

現在の生活の場を聞いたところ、「在宅で生活している」割合は91.2%、「施設に入所している」割合は7.6%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、1度では「施設に入所している」割合は22.0%となっている。
(図Ⅲ-1-4)

図Ⅲ-1-4 現在の生活の場－愛の手帳の程度別



注) ※は、平成25年度調査では「在宅で生活している(グループホーム、ケアホームを含む)」としていた。

(5) 住居の種類－年齢階級、愛の手帳の程度別

※在宅で生活している（グループホームを含む）693人が対象

平成25年度調査よりも「持家」に住んでいる割合が6.6ポイント減少、「借家・賃貸住宅等」が4.5ポイント増加

住居の種類を聞いたところ、「持家」の割合が53.4%で最も高く、また、「借家・賃貸住宅等」が32.8%となっている。

平成25年度調査と比べて、「持家」の割合が6.6ポイント減少し、「借家・賃貸住宅等」が4.5ポイント増加している。（表Ⅲ-1-1）

表Ⅲ-1-1 住居の種類－年齢階級、愛の手帳の程度別

	総数	持家			借家・賃貸住宅等							グループホーム ※2	その他	無回答	
		持家（一戸建て）	持家（分譲マンション等）	借家・賃貸住宅等	都・区市町村の公営賃貸住宅	都市再生機構・公社などの公的賃貸住宅 ※1	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（共同住宅）	間借り	社宅などの給与住宅					
総数	100.0 (693)	53.4	38.2	15.2	32.8	14.0	3.5	1.3	12.6	0.6	0.9	11.5	0.7	1.6	
年齢階級別	19歳以下	100.0 (60)	53.3	35.0	18.3	41.7	20.0	1.7	1.7	16.7	-	1.7	-	1.7	3.3
	20～29歳	100.0 (244)	59.0	40.6	18.4	31.6	11.9	4.1	0.8	12.7	0.8	1.2	7.0	0.8	1.6
	30～39歳	100.0 (147)	57.1	40.1	17.0	27.2	8.2	4.8	2.0	12.2	-	-	11.6	1.4	2.7
	40～49歳	100.0 (152)	52.6	39.5	13.2	30.3	16.4	2.0	0.7	9.2	0.7	1.3	16.4	-	0.7
	50～59歳	100.0 (48)	33.3	29.2	4.2	43.8	29.2	4.2	2.1	8.3	-	-	22.9	-	-
	60歳以上	100.0 (42)	33.3	28.6	4.8	42.9	11.9	2.4	2.4	23.8	2.4	-	23.8	-	-
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (32)	65.6	37.5	28.1	28.1	12.5	6.3	-	6.3	-	3.1	6.3	-	-
	2度	100.0 (160)	60.6	45.6	15.0	26.3	10.6	5.0	1.3	9.4	-	-	11.9	-	1.3
	3度	100.0 (152)	53.9	35.5	18.4	27.0	14.5	1.3	0.7	9.9	-	0.7	16.4	-	2.6
	4度	100.0 (340)	48.5	35.9	12.6	38.8	15.9	3.5	1.8	15.9	0.9	0.9	10.0	1.5	1.2
平成25年度	100.0 (743)	60.0	42.9	17.1	28.3	11.4	3.2	1.2	10.8	0.4	1.2	9.7	0.5	1.5	

注1) 住居の種類については、所有、賃貸の名義が障害者本人と限定していない。そのため、家族等の名義になっている場合も含まれており、必ずしも対象者本人が住居の所有者又は賃貸の名義人とは限らない。

2) ※1は、平成25年度調査では「都市機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅」としていた。

3) ※2は、平成25年度調査では「グループホーム、ケアホーム」としていた。

(6) 現在一緒に生活している人〔複数回答〕一年齢階級、住居の種類、愛の手帳の程度別

※在宅で生活している（グループホームを含む）693人が対象

現在一緒に生活している人は、「親」の割合が最も高く76.2%

現在一緒に生活している人を聞いたところ、「父親、母親」の割合が76.2%で最も高く、また、「兄弟姉妹」が34.5%となっている。

年齢階級別にみると、「一人で暮らしている」の割合は、60歳以上が26.2%、50代が20.8%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、「一人で暮らしている」の割合は、4度が13.2%となっている。

(表Ⅲ-1-2)

表Ⅲ-1-2 現在一緒に生活している人〔複数回答〕一年齢階級、住居の種類、愛の手帳の程度別

		総数	母父親親、	夫、妻	子供	姉兄弟	のそ親の族他	て暮一人らるしで	その他	無回答
総数		100.0 (693)	<u>76.2</u>	2.5	1.0	<u>34.5</u>	7.4	7.2	9.5	2.0
年齢階級別	19歳以下	100.0 (60)	95.0	1.7	-	55.0	15.0	-	-	1.7
	20～29歳	100.0 (244)	88.1	1.2	0.4	47.1	11.1	2.0	6.6	1.2
	30～39歳	100.0 (147)	80.3	2.0	0.7	25.9	6.1	4.1	9.5	3.4
	40～49歳	100.0 (152)	69.7	3.3	2.0	20.4	2.0	11.8	12.5	2.0
	50～59歳	100.0 (48)	52.1	4.2	2.1	18.8	-	<u>20.8</u>	16.7	2.1
	60歳以上	100.0 (42)	16.7	7.1	2.4	31.0	7.1	<u>26.2</u>	21.4	2.4
住居の種類別	持家	100.0 (370)	92.7	1.9	0.5	42.2	10.5	1.9	-	0.3
	持家(一戸建て)	100.0 (265)	92.8	1.9	0.8	43.4	12.8	1.9	-	0.4
	持家(分譲マンション等)	100.0 (105)	92.4	1.9	-	39.0	4.8	1.9	-	-
	借家・賃貸住宅等	100.0 (227)	73.1	4.0	2.2	33.5	4.0	17.6	1.3	0.9
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (97)	79.4	4.1	1.0	41.2	4.1	12.4	1.0	-
	都市再生機構・公社などの公的賃貸住宅	100.0 (24)	79.2	4.2	4.2	33.3	8.3	8.3	-	-
	民間賃貸住宅(共同住宅)	100.0 (87)	65.5	4.6	3.4	23.0	2.3	25.3	2.3	1.1
	グループホーム	100.0 (80)	11.3	-	-	1.3	-	3.8	78.8	7.5
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (32)	90.6	-	-	34.4	3.1	-	9.4	-
	2度	100.0 (160)	86.3	-	-	40.6	5.6	-	9.4	1.9
	3度	100.0 (152)	83.6	-	-	38.2	9.9	1.3	11.8	0.7
	4度	100.0 (340)	67.4	4.7	1.8	30.0	7.4	<u>13.2</u>	8.8	2.9
平成25年度		100.0 (743)	78.5	1.5	1.2	41.7	7.3	5.8	9.3	1.6

注) 住居の種類別のうち、「民間賃貸住宅(一戸建て)」、「間借り」、「社宅などの給与住宅」及び「その他」は、母数が少数のため、省略した。

(7) 現在の主な介護者一年齢階級、愛の手帳の程度別

※在宅で生活している（グループホームを含む）693人が対象

げんざい おも かいごしや ははおや わりあい もっと たか
現在の主な介護者は、「母親」の割合が最も高く55.3%

現在の主な介護者は誰か聞いたところ、「母親」と回答した割合が55.3%で最も高く、また、「介護者はいない」が21.6%となっている。

年齢階級別にみると、「母親」の割合は、19歳以下が66.7%、20代が63.1%、30代が57.8%となっている。60歳以上では「介護者はいない」の割合が31.0%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、「介護者はいない」の割合は、4度が38.2%となっている。

(表Ⅲ-1-3)

表Ⅲ-1-3 現在の主な介護者一年齢階級、愛の手帳の程度別

		総数	父親	母親	配偶者	子供	兄弟姉妹	その他の親族	介護者はいない	その他	無回答
総数		100.0 (693)	5.9	<u>55.3</u>	1.0	-	3.0	1.3	<u>21.6</u>	7.9	3.9
年齢階級別	19歳以下	100.0 (60)	5.0	<u>66.7</u>	1.7	-	1.7	-	21.7	-	3.3
	20～29歳	100.0 (244)	5.3	<u>63.1</u>	0.4	-	0.8	2.0	22.1	3.7	2.5
	30～39歳	100.0 (147)	9.5	<u>57.8</u>	0.7	-	0.7	1.4	16.3	6.8	6.8
	40～49歳	100.0 (152)	6.6	52.0	1.3	-	2.0	0.7	21.7	11.8	3.9
	50～59歳	100.0 (48)	2.1	41.7	-	-	8.3	-	27.1	18.8	2.1
	60歳以上	100.0 (42)	-	11.9	4.8	-	23.8	2.4	<u>31.0</u>	21.4	4.8
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (32)	-	81.3	-	-	3.1	-	3.1	12.5	-
	2度	100.0 (160)	5.6	77.5	-	-	3.1	1.9	1.3	7.5	3.1
	3度	100.0 (152)	7.9	65.8	-	-	2.6	2.6	8.6	8.6	3.9
	4度	100.0 (340)	5.9	38.2	2.1	-	3.2	0.6	<u>38.2</u>	7.6	4.1

(8) 主な介護者の年齢・年齢階級、愛の手帳の程度別

※介護者がいる 516 人が対象

おも かいごしゃ ねんれい だい だい ごうけい わり こ
 主な介護者の年齢は、50代～70代の合計が7割を超えている

主な介護者の年齢を聞いたところ、50代の割合が30.4%、60代が22.1%、70代が19.8%で、50代～70代の合計が7割を超えている（72.3%）。

愛の手帳の程度別にみると、50代の割合は1度が54.8%で最も高くなっている。（表Ⅲ-1-4）

表Ⅲ-1-4 主な介護者の年齢・年齢階級、愛の手帳の程度別

		総数	主な介護者の年齢										
			19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明	無回答	65（再掲）以上
総数		100.0 (516)	0.2	0.8	2.3	8.1	30.4	22.1	19.8	5.2	5.6	5.4	38.0
							72.3						
（回答者の年齢階級別）	19歳以下	100.0 (45)	2.2	2.2	2.2	33.3	51.1	2.2	-	-	-	6.7	-
	20～29歳	100.0 (184)	-	0.5	2.2	13.0	56.5	17.9	2.2	0.5	3.8	3.3	7.1
	30～39歳	100.0 (113)	-	0.9	2.7	-	16.8	48.7	17.7	2.7	3.5	7.1	54.0
	40～49歳	100.0 (113)	-	0.9	-	1.8	5.3	17.7	54.0	6.2	8.0	6.2	76.1
	50～59歳	100.0 (34)	-	-	2.9	-	11.8	5.9	32.4	29.4	14.7	2.9	61.8
	60歳以上	100.0 (27)	-	-	11.1	3.7	3.7	11.1	22.2	22.2	14.8	11.1	55.6
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (31)	-	-	6.5	3.2	54.8	9.7	-	9.7	6.5	9.7	12.9
	2度	100.0 (153)	-	0.7	0.7	8.5	31.4	24.8	19.0	2.6	6.5	5.9	35.9
	3度	100.0 (133)	-	-	-	9.0	24.1	25.6	22.6	7.5	6.8	4.5	45.1
	4度	100.0 (196)	0.5	1.5	4.6	8.2	30.1	19.9	21.4	4.6	4.1	5.1	38.3

2 障害の状況

(1) 愛の手帳の程度—年齢階級、回答者別

愛の手帳の程度は、「4度」の割合が46.4%

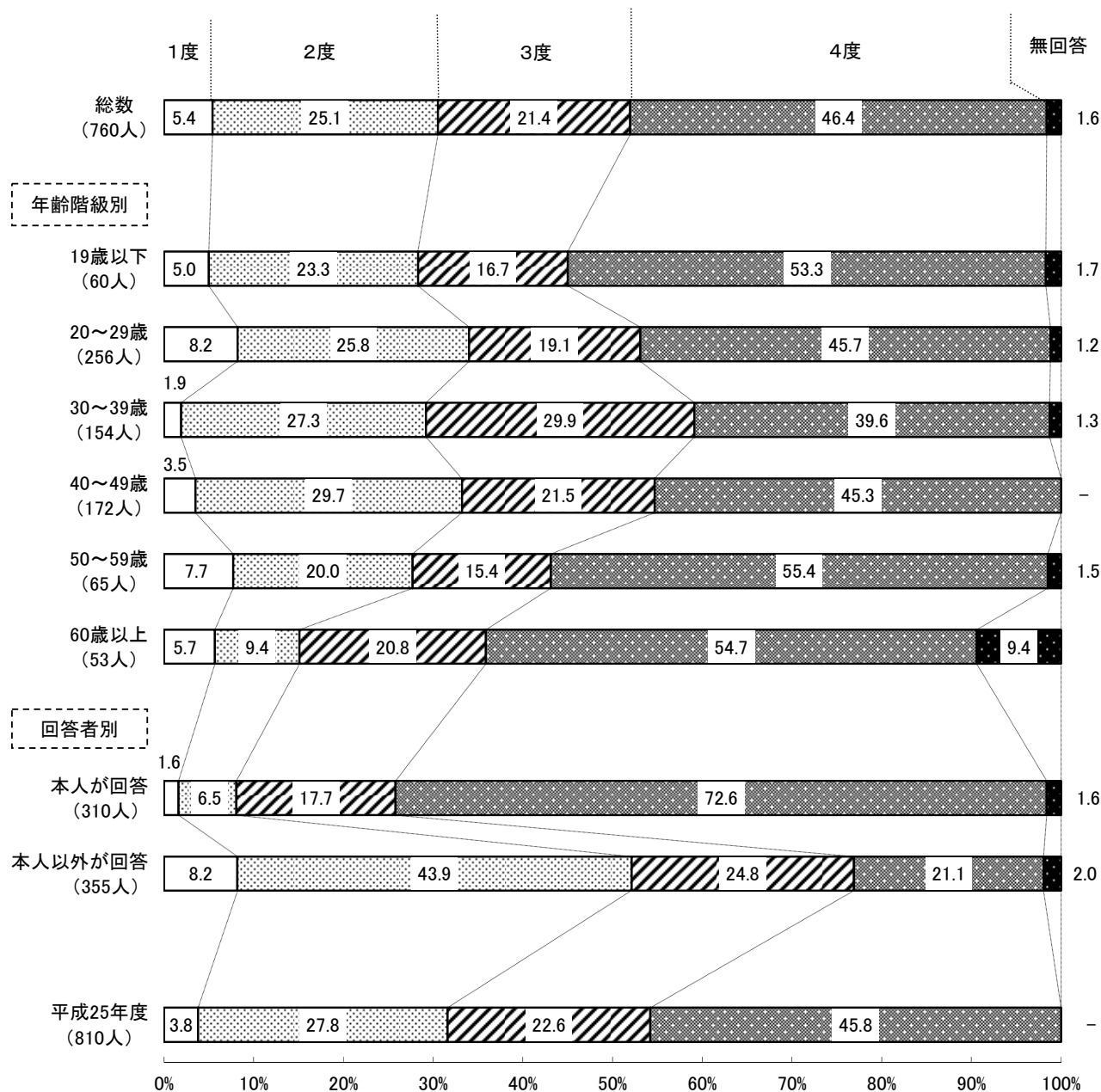
愛の手帳の程度を聞いたところ、「4度」の割合が46.4%となっている。

年齢階級別にみると、19歳以下、50代及び60歳以上では、「4度」の割合が5割を超えている（53.3%、55.4%、54.7%）。

回答者別にみると、「本人が回答」では「4度」の割合が72.6%で最も高くなっている。

(図Ⅲ-2-1)

図Ⅲ-2-1 愛の手帳の程度—年齢階級、回答者別



注) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(2) 愛の手帳以外の手帳の所持の有無〔複数回答〕－愛の手帳の程度別

愛の手帳以外に手帳を持っている割合は28.2%

愛の手帳以外の手帳を持っているか聞いたところ、「手帳あり」の割合が28.2%、「手帳なし」が69.3%となっている。

手帳の種類では、「身体障害者手帳」の割合が21.8%で、身体障害者手帳の程度をみると、1級の割合が7.4%となっている。（表Ⅲ-2-1）

表Ⅲ-2-1 愛の手帳以外の手帳の所持の有無〔複数回答〕－愛の手帳の程度別

	総数	手帳あり	身体障害者手帳								精神障害者保健福祉手帳	戦傷病者手帳	その他	手帳なし	無回答
			1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答						
総数	100.0 (760)	28.2	21.8	7.4	5.1	2.6	3.0	1.6	1.6	0.5	6.2	-	0.5	69.3	2.5
1度	100.0 (41)	80.5	78.0	53.7	7.3	9.8	2.4	2.4	2.4	-	2.4	-	-	19.5	-
2度	100.0 (191)	30.4	28.8	11.5	8.4	2.1	2.1	1.6	2.1	1.0	1.6	-	-	67.5	2.1
3度	100.0 (163)	19.0	15.3	1.8	4.3	2.5	3.7	1.2	1.8	-	3.7	-	0.6	79.1	1.8
4度	100.0 (353)	23.8	13.9	2.0	3.7	1.7	3.1	1.7	1.1	0.6	9.6	-	0.8	73.1	3.1
平成25年度	100.0 (810)	25.9	20.5	8.8	4.6	2.6	2.7	1.1	0.7	-	6.2	-	-	69.4	4.7

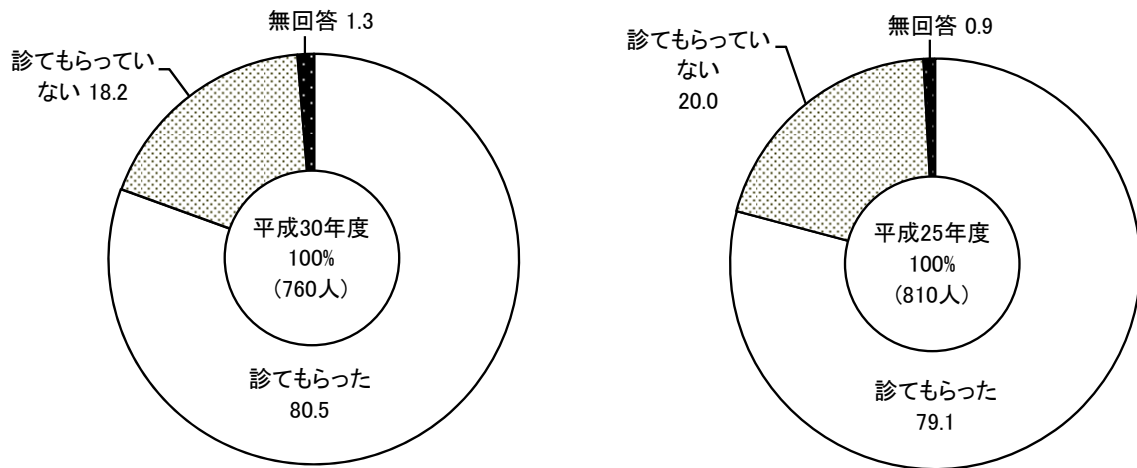
3 健康・医療

(1) 過去1年間の受診の有無

かこねんかん いしや み わりあい
過去1年間に医者に「診てもらった」割合は80.5%

過去1年間に受診（障害が原因の場合に限らず、すべての病気・ケガ等を含む。）したことがあるか聞いたところ、医者に「診てもらった」割合が80.5%で、平成25年度調査と比べて1.4ポイント増加している。（図Ⅲ-3-1）

図Ⅲ-3-1 過去1年間の受診の有無



(2) 通院に要する時間一年齢階級別

※過去1年間に、病気やケガで医者に診てもらったことがある612人が対象

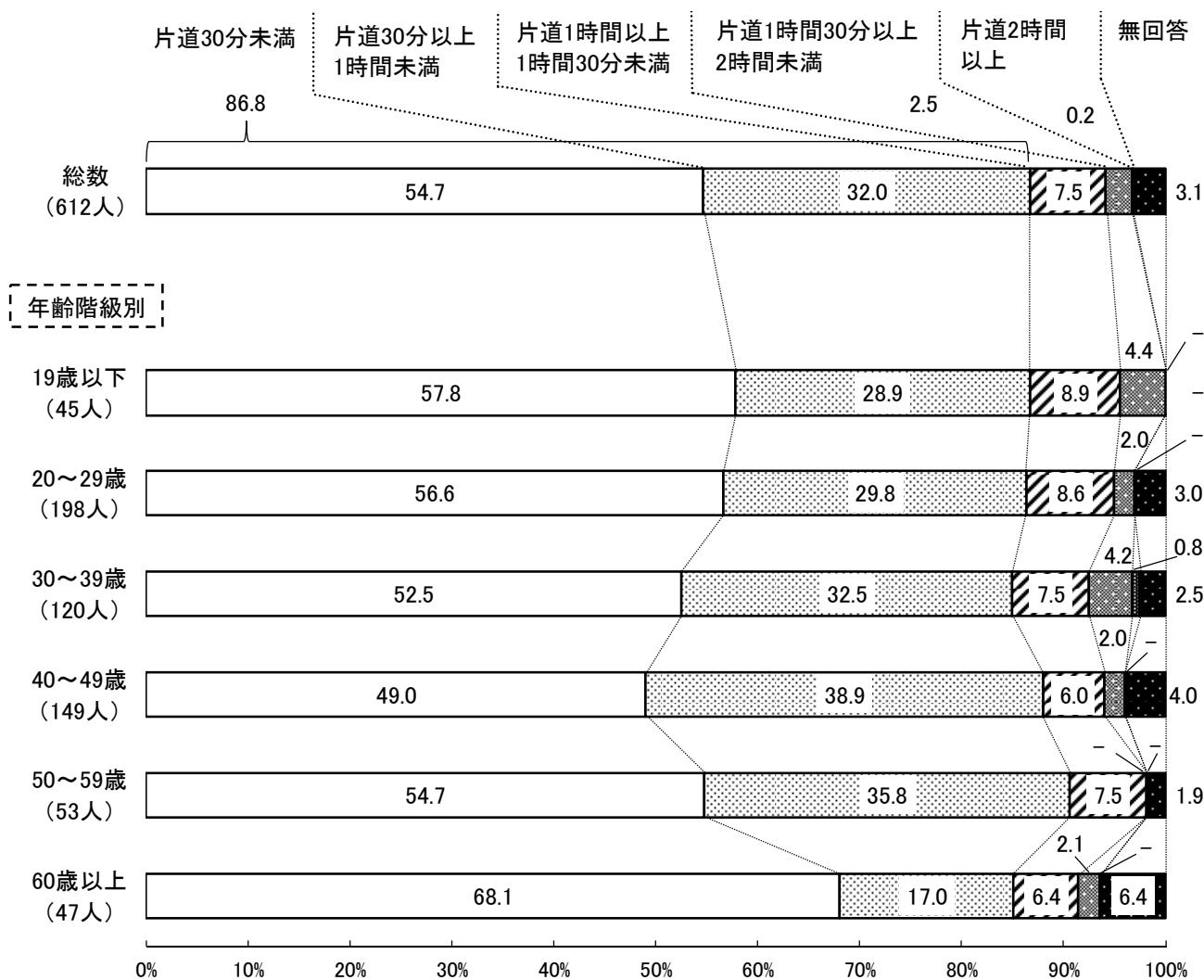
つういん よう かたみち じかん じかんみまん
通院に要する片道の時間は1時間未満が86.8%

通院に要する片道の時間を聞いたところ、「30分未満」の割合が54.7%で最も高く、また、「30分以上1時間未満」が32.0%となっており、これらを合わせた「1時間未満」の割合は86.8%となっている。

年齢階級別にみると、60歳以上では「30分未満」の割合が68.1%となっている。

(図Ⅲ-3-2)

図Ⅳ-3-2 通院に要する時間一年齢階級別



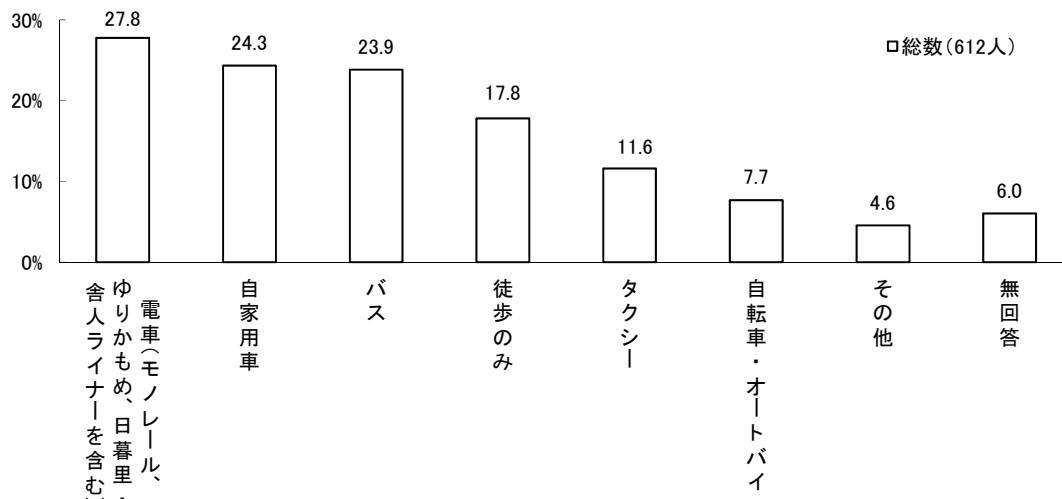
(3) 通院の際に利用する交通手段〔複数回答〕

※過去1年間に、病気やケガで医者に診てもらったことがある612人が対象

通院の際に利用する交通手段は「電車（モノレール、ゆりかもめ、日暮里・舎人ライナーを含む）」の割合が27.8%

通院の際に利用する交通手段を聞いたところ、「電車（モノレール、ゆりかもめ、日暮里・舎人ライナーを含む）」の割合が27.8%、「自家用車」が24.3%となっている。（図Ⅲ-3-3）

図Ⅲ-3-3 通院の際に利用する交通手段〔複数回答〕



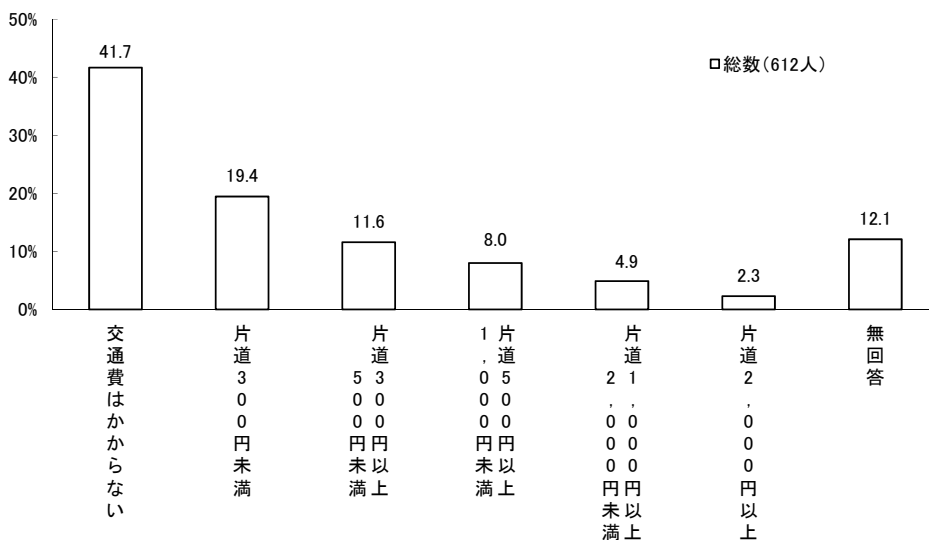
(4) 通院の際に要する交通費

※過去1年間に、病気やケガで医者に診てもらったことがある612人が対象

通院の際に「交通費はかからない」と答えた割合が41.7%

通院の際に要する交通費を聞いたところ、「交通費はかからない」の割合が41.7%で、交通費の金額が多いものほど、回答割合が低くなっている。（図Ⅲ-3-4）

図Ⅲ-3-4 通院の際に要する交通費

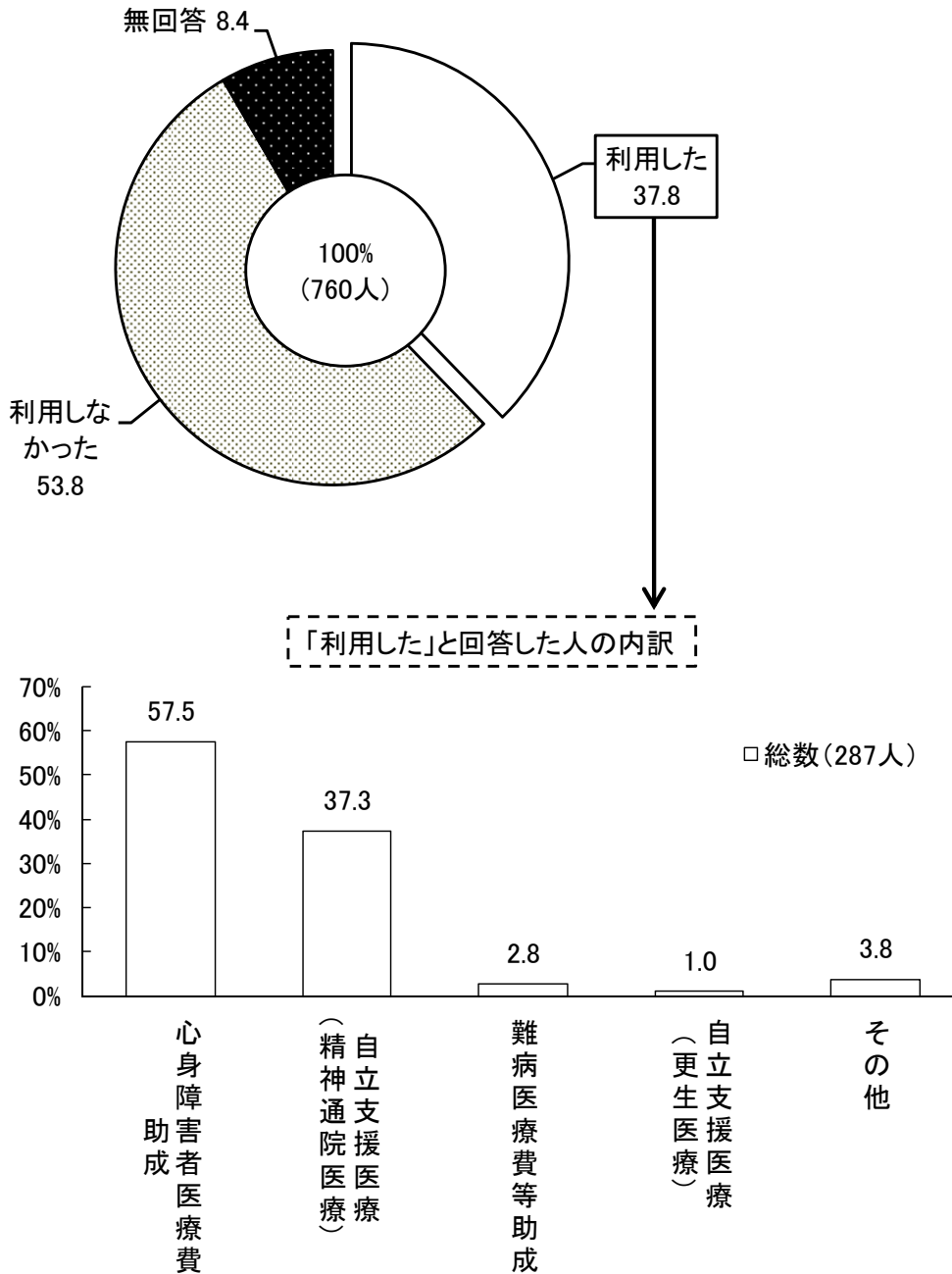


(5) 過去1年間の医療費助成等の利用の有無

過去1年間に医療費助成等を「利用した」割合は37.8%

過去1年間に医療費助成等を利用したか聞いたところ、「利用した」の割合が37.8%、「利用しなかった」が53.8%となっている。利用した内容では、「心身障害者医療費助成」が57.5%で最も高く、また、「自立支援医療（精神通院医療）」が37.3%となっている。（図Ⅲ-3-5）

図Ⅲ-3-5 過去1年間の医療費助成等の利用の有無



(6) 過去1年間の医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕一年齢階級、愛の手帳の程度別

過去1年間の医療費助成等の利用の有無について、年齢階級別にみると、「利用した」の割合は、30代が45.5%となっている。

利用した内容を愛の手帳の程度別でみると、1度及び2度では「心身障害者医療費助成」の割合がいずれも6割を超えており(65.9%、61.8%)、他の程度と比べて高くなっている。

また、3度及び4度では「自立支援医療(精神通院医療)」の割合がそれぞれ14.7%、19.3%となっている。(表Ⅲ-3-1)

表Ⅲ-3-1 過去1年間の医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕一年齢階級、愛の手帳の程度別

	総数	利用した	利用した					利用しなかった	無回答	
			心身障害者医療費助成	自立支援医療(更生医療)	自立支援医療(精神通院医療)	難病等医療費助成	その他			
総数	100.0 (760)	37.8	21.7	0.4	14.1	1.1	1.4	53.8	8.4	
年齢階級別	19歳以下 (60)	100.0	26.7	11.7	-	11.7	1.7	1.7	65.0	8.3
	20～29歳 (256)	100.0	39.5	26.2	-	12.5	2.0	0.8	55.9	4.7
	30～39歳 (154)	100.0	<u>45.5</u>	25.3	1.3	17.5	1.3	0.6	44.8	9.7
	40～49歳 (172)	100.0	39.5	20.9	-	16.9	-	2.3	52.9	7.6
	50～59歳 (65)	100.0	24.6	10.8	1.5	12.3	-	-	56.9	18.5
	60歳以上 (53)	100.0	30.2	17.0	-	7.5	-	5.7	56.6	13.2
愛の手帳の程度別	1度 (41)	100.0	68.3	<u>65.9</u>	-	2.4	4.9	2.4	26.8	4.9
	2度 (191)	100.0	68.1	<u>61.8</u>	-	6.3	0.5	-	24.6	7.3
	3度 (163)	100.0	23.3	4.3	1.2	<u>14.7</u>	1.2	2.5	68.1	8.6
	4度 (353)	100.0	24.6	3.4	0.3	<u>19.3</u>	0.6	1.7	66.9	8.5

4 日常生活の状況

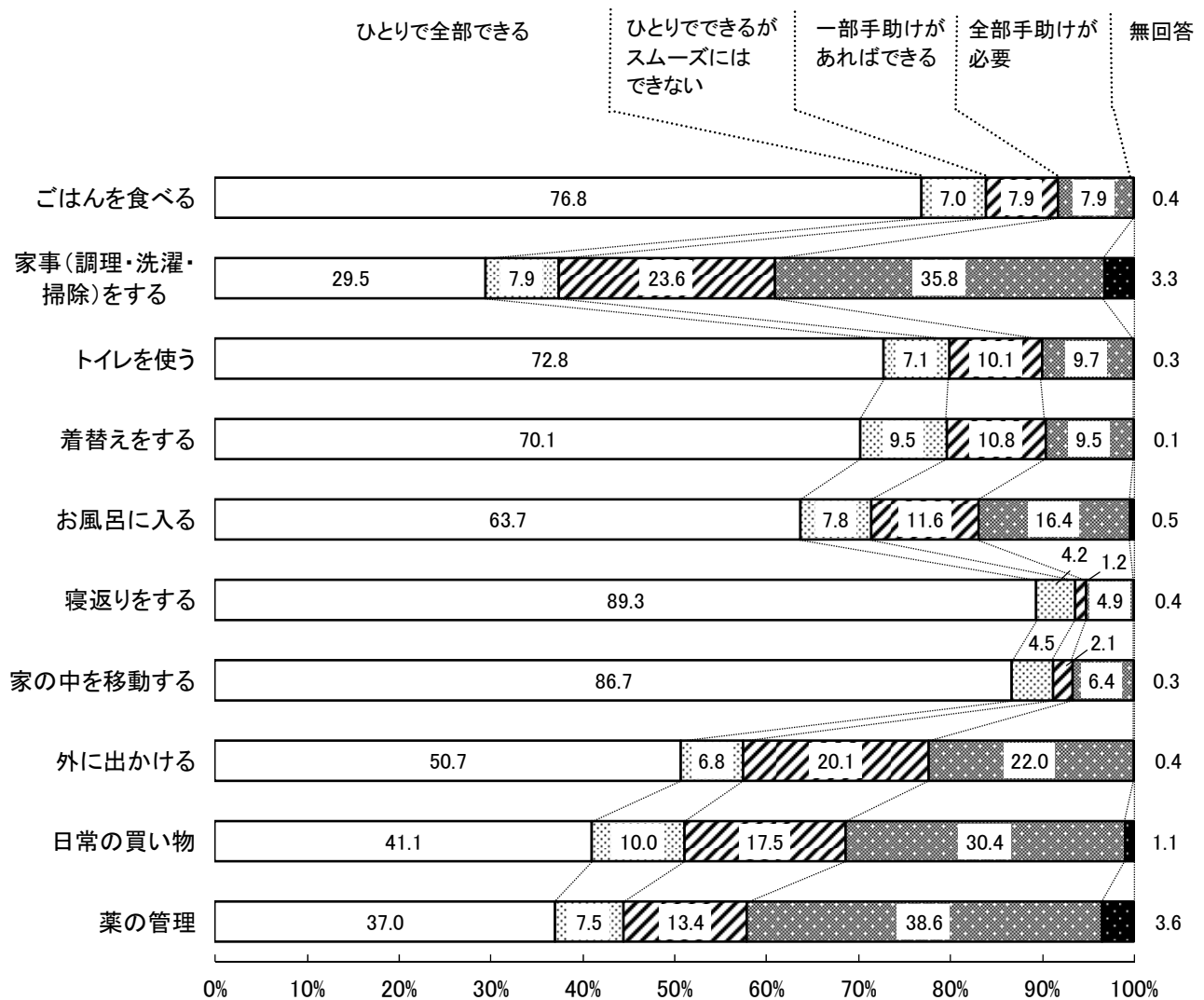
(1) 日常生活動作能力

ぜんぶてだす ひつよう わりあい たか
 「全部手助けが必要」の割合が高いのは、「家事（調理・洗濯・掃除）」、「日常の買い物」、
 くすり かんり わり こ
 「薬の管理」で3割を超えている

10項目の日常生活動作能力のうち、「ひとりで全部できる」と答えた割合は、「寝返りをする」が89.3%、「家の中を移動する」が86.7%、「ごはんを食べる」が76.8%となっている。

一方、「全部手助けが必要」と答えた割合は、「家事（調理・洗濯・掃除）をする」、「日常の買い物」及び「薬の管理」が3割を超えている（35.8%、30.4%、38.6%）。（図Ⅲ-4-1）

図Ⅲ-4-1 日常生活動作能力



注1) できる、できないの判断について、補装具等を使用している人は、使用した状態で聞いている。

2) 総数は、10項目とも760人である。

(2) 日常生活動作能力 (a ごはんを食べる b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする c トイレを使う)
 -愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別
 日常生活動作能力の「a ごはんを食べる」、「b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする」及び「c トイレを使う」を愛の手帳の程度別にみると、1度では、「全部手助けが必要」の割合がいずれも7割を超えている (70.7%、92.7%、70.7%)。 (表Ⅲ-4-1)

表Ⅲ-4-1 日常生活動作能力(a ごはんを食べる b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする c トイレを使う)
 -愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

	a ごはんを食べる						b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする						c トイレを使う						
	総数	ひとりで全部できる	スムーズにはできない	ひとりでできるが一部手助けがあれば	全部手助けが必要	無回答	総数	ひとりで全部できる	スムーズにはできない	ひとりでできるが一部手助けがあれば	全部手助けが必要	無回答	総数	ひとりで全部できる	スムーズにはできない	ひとりでできるが一部手助けがあれば	全部手助けが必要	無回答	
総数	100.0 (760)	76.8	7.0	7.9	7.9	0.4	100.0 (760)	29.5	7.9	23.6	35.8	3.3	100.0 (760)	72.8	7.1	10.1	9.7	0.3	
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (41)	22.0	2.4	4.9	<u>70.7</u>	-	100.0 (41)	4.9	2.4	-	<u>92.7</u>	-	100.0 (41)	9.8	2.4	17.1	<u>70.7</u>	-
	2度	100.0 (191)	47.1	14.7	24.6	13.6	-	100.0 (191)	2.1	3.1	12.0	75.9	6.8	100.0 (191)	35.1	13.6	30.9	20.4	-
	3度	100.0 (163)	89.0	6.7	3.1	-	1.2	100.0 (163)	26.4	7.4	36.2	25.8	4.3	100.0 (163)	85.9	8.6	4.9	0.6	-
	4度	100.0 (353)	94.1	3.1	1.7	0.8	0.3	100.0 (353)	48.2	11.6	27.2	11.9	1.1	100.0 (353)	94.9	2.8	0.8	1.1	0.3
回答者別	本人が回答	100.0 (310)	94.2	3.2	1.3	1.3	-	100.0 (310)	51.3	8.4	26.5	11.9	1.9	100.0 (310)	93.5	3.2	1.6	1.6	-
	本人以外が回答	100.0 (355)	61.4	9.9	14.1	14.1	0.6	100.0 (355)	12.7	6.8	19.2	56.9	4.5	100.0 (355)	53.2	10.4	18.9	16.9	0.6
現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	父親、母親	100.0 (528)	75.2	7.4	8.9	8.3	0.2	100.0 (528)	26.9	7.4	23.7	38.3	3.8	100.0 (528)	71.8	7.6	10.6	9.8	0.2
	夫、妻	100.0 (17)	100.0	-	-	-	-	100.0 (17)	58.8	17.6	23.5	-	-	100.0 (17)	100.0	-	-	-	-
	兄弟姉妹	100.0 (239)	74.1	10.0	7.5	7.9	0.4	100.0 (239)	25.1	5.0	25.9	40.2	3.8	100.0 (239)	68.6	10.9	10.9	9.6	-
	その他の親族	100.0 (51)	78.4	9.8	7.8	3.9	-	100.0 (51)	25.5	9.8	31.4	29.4	3.9	100.0 (51)	80.4	9.8	5.9	3.9	-
	一人で暮らしている	100.0 (50)	98.0	-	-	2.0	-	100.0 (50)	60.0	10.0	22.0	8.0	-	100.0 (50)	96.0	2.0	-	2.0	-
	その他	100.0 (66)	87.9	3.0	6.1	3.0	-	100.0 (66)	27.3	9.1	28.8	33.3	1.5	100.0 (66)	78.8	4.5	10.6	6.1	-

注1) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

2) 「現在一緒に生活している人」は在宅者を対象とした設問のため、総数は693人である。

なお、「その他」は、主にグループホームの他の入居者や職員である。

3) 「現在一緒に生活している人」が「子供」については、母数が少数のため省略した。

(3) 日常生活動作能力 (d 着替えをする e お風呂に入る f 寝返りをする)

—愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別
日常生活動作能力の「d 着替えをする」、「e お風呂に入る」及び「f 寝返りをする」を愛の手帳の程度別にみると、1度では、「全部手助けが必要」の割合がいずれも最も高くなっている(68.3%、85.4%、51.2%)。(表Ⅲ-4-2)

表Ⅲ-4-2 日常生活動作能力 (d 着替えをする e お風呂に入る f 寝返りをする)

—愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

		d 着替えをする						e お風呂に入る						f 寝返りをする								
		総数	ひとりで全部できる	スムーズにはできない	ひとりでできるが	一部手助けがあれば	全部手助けが必要	無回答	総数	ひとりで全部できる	スムーズにはできない	ひとりでできるが	一部手助けがあれば	全部手助けが必要	無回答	総数	ひとりで全部できる	スムーズにはできない	ひとりでできるが	一部手助けがあれば	全部手助けが必要	無回答
総数		100.0 (760)	70.1	9.5	10.8	9.5	0.1	100.0 (760)	63.7	7.8	11.6	16.4	0.5	100.0 (760)	89.3	4.2	1.2	4.9	0.4			
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (41)	12.2	4.9	14.6	68.3	-	100.0 (41)	9.8	2.4	2.4	85.4	-	100.0 (41)	34.1	14.6	-	51.2	-			
	2度	100.0 (191)	32.5	16.8	31.9	18.8	-	100.0 (191)	19.9	11.0	28.3	39.8	1.0	100.0 (191)	82.7	8.4	3.1	4.7	1.0			
	3度	100.0 (163)	83.4	11.0	4.3	1.2	-	100.0 (163)	73.6	11.7	11.0	3.7	-	100.0 (163)	97.5	1.2	0.6	0.6	-			
	4度	100.0 (353)	91.5	4.8	2.3	1.1	0.3	100.0 (353)	89.5	4.5	4.0	1.4	0.6	100.0 (353)	95.8	2.3	0.6	1.1	0.3			
回答者別	本人が回答	100.0 (310)	92.6	3.5	2.6	1.3	-	100.0 (310)	89.0	4.8	3.9	2.3	-	100.0 (310)	98.1	1.0	-	1.0	-			
	本人以外が回答	100.0 (355)	49.6	14.6	18.6	16.9	0.3	100.0 (355)	41.1	9.9	18.6	29.3	1.1	100.0 (355)	82.0	6.8	2.3	8.2	0.8			
〔複数回答〕別 現在一緒に生活している人	父親、母親	100.0 (528)	68.8	10.2	11.2	9.8	-	100.0 (528)	63.1	8.5	10.2	17.6	0.6	100.0 (528)	90.5	3.6	1.3	4.5	-			
	夫、妻	100.0 (17)	100.0	-	-	-	-	100.0 (17)	76.5	17.6	5.9	-	-	100.0 (17)	100.0	-	-	-	-			
	兄弟姉妹	100.0 (239)	67.8	12.6	10.5	9.2	-	100.0 (239)	58.6	10.9	11.7	18.4	0.4	100.0 (239)	89.5	3.3	2.5	4.6	-			
	その他の親族	100.0 (51)	78.4	3.9	13.7	3.9	-	100.0 (51)	72.5	5.9	13.7	7.8	-	100.0 (51)	96.1	2.0	-	2.0	-			
	一人で暮らしている	100.0 (50)	96.0	2.0	-	2.0	-	100.0 (50)	90.0	4.0	4.0	2.0	-	100.0 (50)	92.0	6.0	-	2.0	-			
	その他	100.0 (66)	69.7	10.6	13.6	6.1	-	100.0 (66)	66.7	1.5	21.2	10.6	-	100.0 (66)	93.9	3.0	-	3.0	-			

注1) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

2) 「現在一緒に生活している人」は在宅者を対象とした設問のため、総数は693人である。

なお、「その他」は、主にグループホームの他の入居者や職員である。

3) 「現在一緒に生活している人」が「子供」については、母数が少数のため省略した。

(4) 日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外に出かける i 日常の買い物 j 薬の管理)

—愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

日常生活動作能力の「i 日常の買い物」及び「j 薬の管理」を愛の手帳の程度別にみると、「全部手助けが必要」の割合は、1度では9割を、2度では7割を超えている。(表Ⅲ-4-3)

表Ⅲ-4-3 日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外に出かける i 日常の買い物 j 薬の管理)

—愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

	g 家の中を移動する						h 外に出かける						
	総数	できるとりて全部	にるはがとりでスリでできない	あ一部ば手助けができる	必要全部手助けが	無回答	総数	できるとりて全部	にるはがとりでスリでできない	あ一部ば手助けができる	必要全部手助けが	無回答	
総数	100.0 (760)	86.7	4.5	2.1	6.4	0.3	100.0 (760)	50.7	6.8	20.1	22.0	0.4	
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (41)	26.8	7.3	4.9	61.0	-	100.0 (41)	9.8	-	7.3	82.9	-
	2度	100.0 (191)	74.9	9.4	6.3	8.9	0.5	100.0 (191)	8.4	5.2	29.8	56.0	0.5
	3度	100.0 (163)	96.3	2.5	0.6	0.6	-	100.0 (163)	49.1	9.8	33.1	7.4	0.6
	4度	100.0 (353)	96.3	2.0	0.3	1.1	0.3	100.0 (353)	79.0	7.4	10.5	2.8	0.3
回答者別	本人が回答	100.0 (310)	97.4	1.0	1.0	0.6	-	100.0 (310)	75.5	7.7	13.9	2.9	-
	本人以外が回答	100.0 (355)	77.5	7.3	3.1	11.5	0.6	100.0 (355)	26.2	6.5	26.2	40.3	0.8
現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	父親、母親	100.0 (528)	88.4	3.2	1.9	6.4	-	100.0 (528)	49.2	7.2	20.6	22.7	0.2
	夫、妻	100.0 (17)	100.0	-	-	-	-	100.0 (17)	64.7	17.6	11.8	5.9	-
	兄弟姉妹	100.0 (239)	88.7	3.3	2.9	5.0	-	100.0 (239)	45.2	8.4	22.6	23.8	-
	その他の親族	100.0 (51)	96.1	-	-	3.9	-	100.0 (51)	54.9	9.8	21.6	13.7	-
	一人で暮らしている	100.0 (50)	98.0	-	-	2.0	-	100.0 (50)	90.0	4.0	4.0	2.0	-
	その他	100.0 (66)	84.8	9.1	3.0	3.0	-	100.0 (66)	48.5	3.0	22.7	25.8	-
		i 日常の買い物						j 薬の管理					
	総数	できるとりて全部	にるはがとりでスリでできない	あ一部ば手助けができる	必要全部手助けが	無回答	総数	できるとりて全部	にるはがとりでスリでできない	あ一部ば手助けができる	必要全部手助けが	無回答	
総数	100.0 (760)	41.1	10.0	17.5	30.4	1.1	100.0 (760)	37.0	7.5	13.4	38.6	3.6	
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (41)	7.3	-	2.4	<u>90.2</u>	-	100.0 (41)	4.9	2.4	2.4	<u>90.2</u>	-
	2度	100.0 (191)	2.1	4.2	17.8	<u>74.9</u>	1.0	100.0 (191)	3.1	2.1	8.4	<u>84.8</u>	1.6
	3度	100.0 (163)	32.5	14.1	33.7	17.8	1.8	100.0 (163)	25.2	12.3	23.9	32.5	6.1
	4度	100.0 (353)	69.7	12.7	11.9	5.1	0.6	100.0 (353)	64.6	9.1	12.5	9.9	4.0
回答者別	本人が回答	100.0 (310)	66.8	10.0	15.8	7.1	0.3	100.0 (310)	59.7	7.4	13.5	14.5	4.8
	本人以外が回答	100.0 (355)	17.2	8.5	20.3	52.7	1.4	100.0 (355)	17.2	5.9	12.4	61.4	3.1
現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	父親、母親	100.0 (528)	38.1	10.6	18.4	32.0	0.9	100.0 (528)	34.8	8.9	14.6	37.7	4.0
	夫、妻	100.0 (17)	64.7	11.8	11.8	11.8	-	100.0 (17)	70.6	5.9	11.8	11.8	-
	兄弟姉妹	100.0 (239)	35.1	9.6	20.5	33.5	1.3	100.0 (239)	33.1	8.4	14.6	39.7	4.2
	その他の親族	100.0 (51)	35.3	17.6	29.4	17.6	-	100.0 (51)	33.3	13.7	19.6	27.5	5.9
	一人で暮らしている	100.0 (50)	78.0	12.0	8.0	-	2.0	100.0 (50)	78.0	6.0	10.0	4.0	2.0
	その他	100.0 (66)	42.4	9.1	19.7	27.3	1.5	100.0 (66)	31.8	6.1	15.2	45.5	1.5

注1) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

2) 「現在一緒に生活している人」は在宅者を対象とした設問のため、総数は693人である。

なお、「その他」は、主にグループホームの他の入居者や職員である。

3) 「現在一緒に生活している人」が「子供」については、母数が少数のため省略した。

5 就労の状況

(1) 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）一年齢階級、愛の手帳の程度別

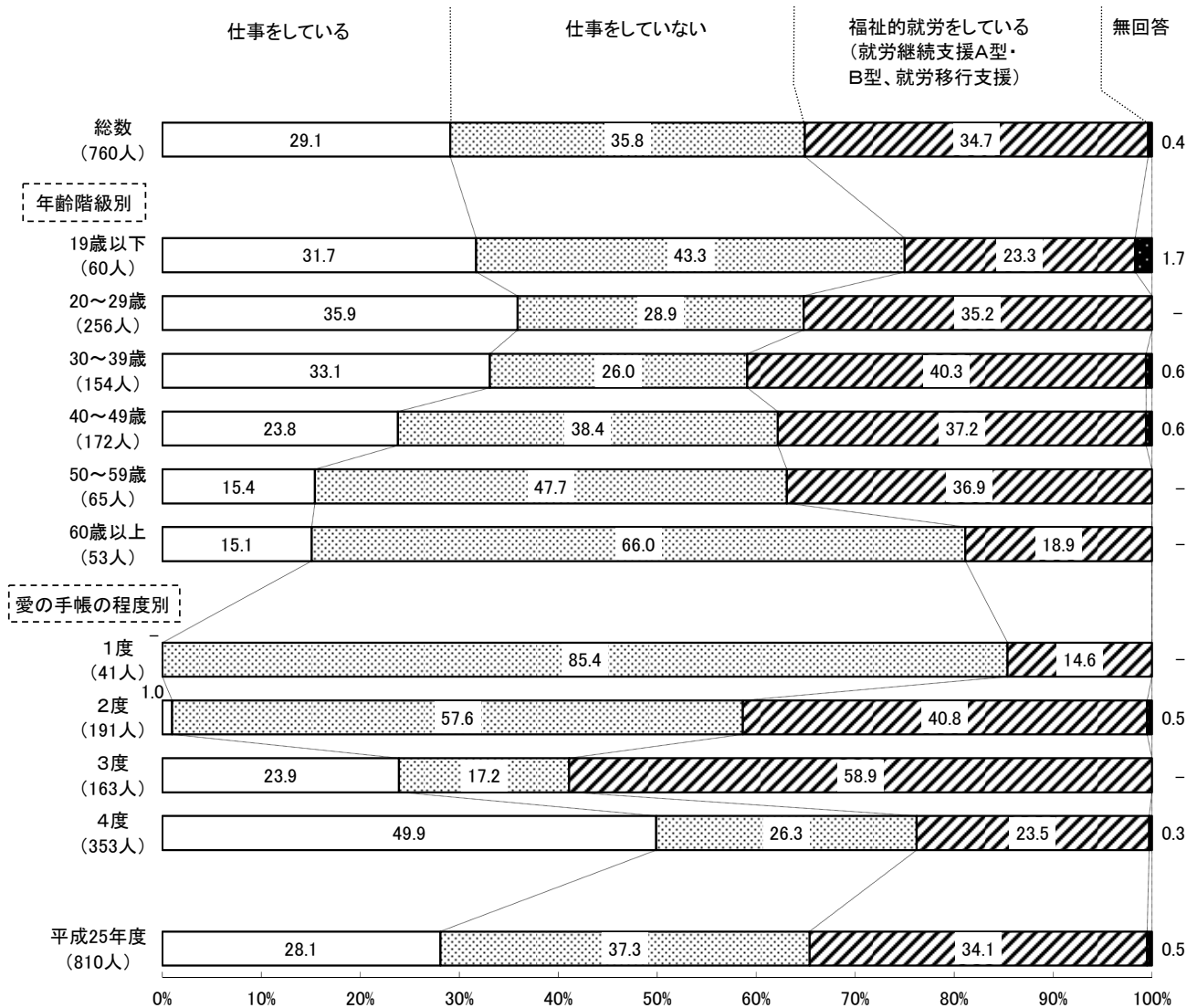
「^{ふくしてきしゅうろう}福祉的就労をしている（^{しゅうろうけいぞくしえん}就労継続支援A型・B型、^{がた}就労移行支援）」の割合が34.7%、「^{しごと}仕事をしている」^{わりあい}割合が29.1%

収入を伴う仕事をしているか聞いたところ、「福祉的就労をしている（就労継続支援A型・B型、就労移行支援）」の割合が34.7%、「仕事をしている」が29.1%、「仕事をしていない」が35.8%となっている。

年齢階級別にみると、30代では「福祉的就労をしている」の割合が40.3%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、4度では「仕事をしている」の割合が49.9%、3度では「福祉的就労をしている」が58.9%となっている。（図Ⅲ-5-1）

図Ⅲ-5-1 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）一年齢階級、愛の手帳の程度別



(2) 仕事の種類〔複数回答〕一年齢階級、愛の手帳の程度別

※調査基準日現在、「仕事をしている」と回答した 221 人が対象

「ひせいき非正規の職員・従業員せいき」の割合が最も高く 71.0%、「せいぎ正規の職員・従業員せいき」の割合は 25.8%

仕事の種類を聞いたところ、「非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・日雇等(契約職員、派遣職員を含む))」の割合が 71.0%で最も高く、また、「正規の職員・従業員」が 25.8%となっている。

年齢階級別にみると、40代では「正規の職員・従業員」の割合が 34.1%となっている。

また、「非正規の職員・従業員」の割合は、10代から40代では6割を超えている(63.4~76.5%)。

(表Ⅲ-5-1)

表Ⅲ-5-1 仕事の種類〔複数回答〕一年齢階級、愛の手帳の程度別

		総数	正規の職員・従業員	会社等の役員	非正規の職員・従業員 (パート・アルバイト・日雇等 (契約職員、派遣職員を含む))	自営業	家業の手伝い	内職	その他	無回答
総数		100.0 (221)	25.8	-	71.0	-	0.9	-	0.9	1.8
年齢階級別	19歳以下	100.0 (19)	26.3	-	73.7	-	-	-	-	-
	20~29歳	100.0 (92)	21.7	-	73.9	-	-	-	2.2	2.2
	30~39歳	100.0 (51)	21.6	-	76.5	-	-	-	-	2.0
	40~49歳	100.0 (41)	34.1	-	63.4	-	2.4	-	-	-
	50~59歳	100.0 (10)	50.0	-	40.0	-	-	-	-	10.0
の愛程の度手帳別	3度	100.0 (39)	20.5	-	71.8	-	2.6	-	2.6	2.6
	4度	100.0 (176)	26.7	-	71.0	-	0.6	-	0.6	1.7

注1) 年齢階級別のうち、60歳以上は母数が少数のため、省略した。

2) 愛の手帳の程度別のうち、1度は該当者がいないため、2度は母数が少数のため、省略した。

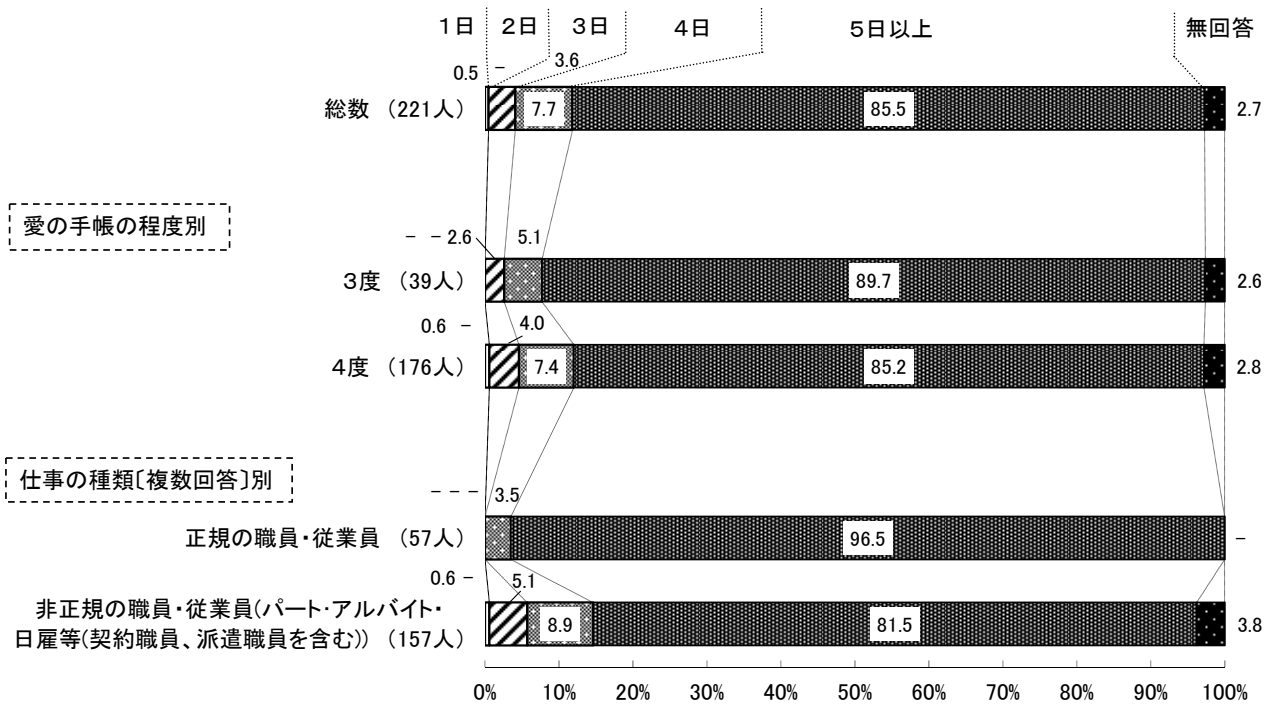
(3) 1週間の就労日数－愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別

※調査基準日現在「仕事をしている」と回答した221人が対象

しゅうかん しゅうろうにつすう いつか いじょう わりあい もっと たか
1週間の就労日数は「5日以上」の割合が最も高く85.5%

1週間の就労日数を聞いたところ、「5日以上」の割合が85.5%で最も高くなっている。
 仕事の種類別にみると、「5日以上」の割合は、正規の職員・従業員では96.5%、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））では81.5%となっている。（図Ⅲ-5-2）

図Ⅲ-5-2 1週間の就労日数－愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別



注1) 愛の手帳の程度別のうち、1度は該当者がいないため、2度は母数が少数のため、省略した。

2) 仕事の種類〔複数回答〕別のうち、「会社等の役員」、「自営業」及び「内職」は該当者がいないため、「家業の手伝い」及び「その他」は母数が少数のため、省略した。

(4) 1週間の労働時間－愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別

※調査基準日現在「仕事をしている」と回答した221人が対象

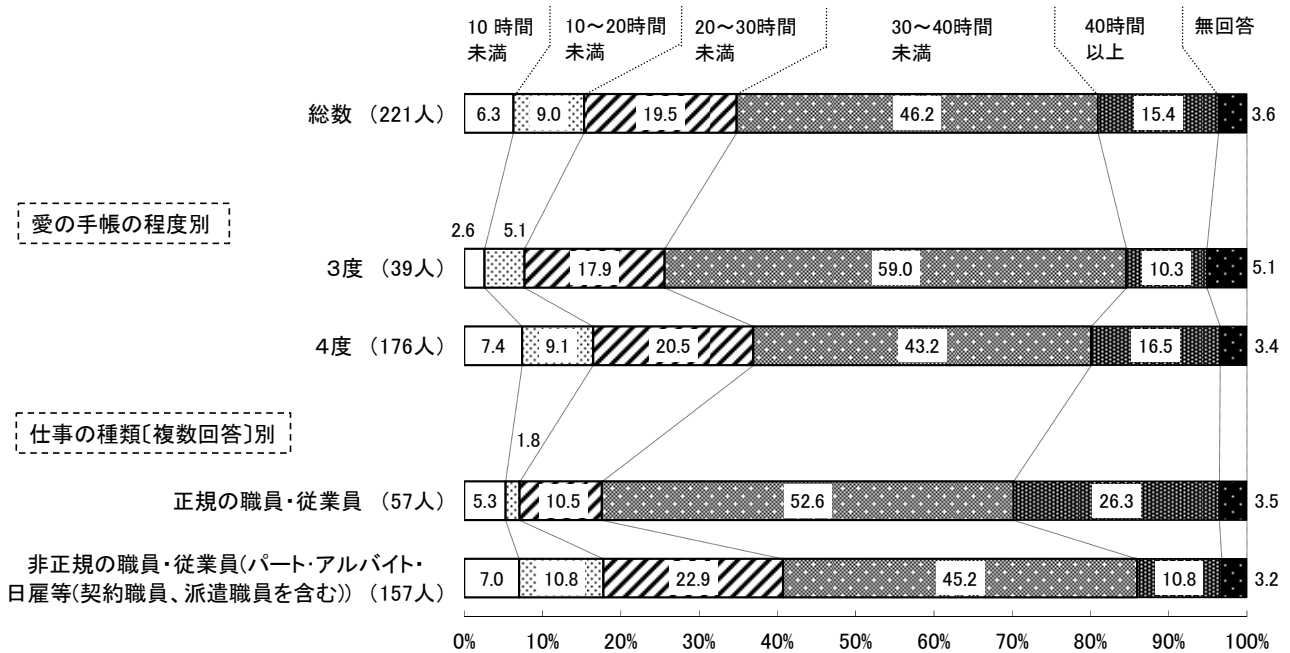
しゅうかん ろうどうじかん じかんみまん
 1週間の労働時間は「30～40時間未満」が46.2%

1週間の労働時間を聞いたところ、「30～40時間未満」の割合が46.2%、「20～30時間未満」が19.5%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、3度では「30～40時間未満」の割合が約6割となっている。

仕事の種類別にみると、正規の職員・従業員では「30～40時間未満」が52.6%で最も高く、また、「40時間以上」が26.3%となっている。（図Ⅲ-5-3）

図Ⅲ-5-3 1週間の労働時間－愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別



注1) 愛の手帳の程度別のうち、1度は該当者がいないため、2度は母数が少数のため、省略した。

2) 仕事の種類〔複数回答〕別のうち、「会社等の役員」、「自営業」及び「内職」は該当者がいないため、「家業の手伝い」及び「その他」は母数が少数のため、省略した。

(5) 就職をするために支援を受けたところ（人）〔複数回答〕－性別、年齢階級別

※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））である214人が対象

就職をするために支援を受けたところは「学校」の割合が43.9%

どこ（誰）の支援を受けて現在の仕事に就いたか聞いたところ、「学校」の割合が43.9%、「区市町村障害者就労支援センター、障害者就業・生活支援センター」が25.7%、「ハローワーク」が20.6%となっている。（表Ⅲ-5-2）

表Ⅲ-5-2 就職をするために支援を受けたところ（人）〔複数回答〕－性別、年齢階級別

		総数	ハローワーク	区市町村障害者就業・生活支援センター	学校	家族	知人	就労移行支援事業所等	福祉団体	その他	支援はなかった	無回答
総数		100.0 (214)	20.6	25.7	43.9	7.9	2.3	15.4	1.9	2.3	3.3	1.9
性別	男	100.0 (158)	20.3	26.6	44.3	6.3	1.9	18.4	1.9	1.3	4.4	-
	女	100.0 (56)	21.4	23.2	42.9	12.5	3.6	7.1	1.8	5.4	-	7.1
年齢階級別	19歳以下	100.0 (19)	21.1	-	68.4	10.5	-	-	-	-	10.5	5.3
	20～29歳	100.0 (88)	15.9	21.6	62.5	5.7	2.3	14.8	2.3	1.1	3.4	1.1
	30～39歳	100.0 (50)	22.0	34.0	32.0	4.0	-	24.0	-	8.0	4.0	-
	40～49歳	100.0 (40)	25.0	27.5	22.5	12.5	7.5	15.0	2.5	-	-	5.0
	50歳以上	100.0 (17)	29.4	47.1	5.9	17.6	-	11.8	5.9	-	-	-

(6) 現在の仕事に就いてからの期間－性別、年齢階級、仕事の種類〔複数回答〕別

※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））である214人が対象

現在の仕事に就いてからの期間は「5年以上」の割合が約5割

現在の仕事に就いてからの期間を聞いたところ、「10年以上」の割合が29.9%、「5年以上10年未満」が21.0%、「3年以上5年未満」が16.4%となっている。5年以上の割合（「5年以上10年未満」と「10年以上」の合計）が約5割となっている。

年齢階級別にみると、30代及び50歳以上では「10年以上」の割合が5割を超えている（56.0%、58.8%）。（表Ⅲ-5-3）

表Ⅲ-5-3 現在の仕事に就いてからの期間－性別、年齢階級、仕事の種類〔複数回答〕別

		総数	3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	無回答	
総数		100.0 (214)	4.2	3.7	8.4	14.5	16.4	21.0	29.9	1.9	
			50.9								
性別	男	100.0 (158)	4.4	3.8	7.6	13.9	17.1	22.8	29.7	0.6	
	女	100.0 (56)	3.6	3.6	10.7	16.1	14.3	16.1	30.4	5.4	
年齢階級別	19歳以下	100.0 (19)	21.1	5.3	52.6	21.1	-	-	-	-	
	20～29歳	100.0 (88)	2.3	2.3	5.7	19.3	27.3	33.0	8.0	2.3	
	30～39歳	100.0 (50)	-	2.0	-	12.0	12.0	18.0	56.0	-	
	40～49歳	100.0 (40)	5.0	7.5	5.0	5.0	10.0	15.0	47.5	5.0	
	50歳以上	100.0 (17)	5.9	5.9	5.9	11.8	5.9	5.9	58.8	-	
〔仕事の種類 複数回答〕別	正規の職員・従業員	100.0 (57)	1.8	-	8.8	17.5	14.0	21.1	35.1	1.8	
	非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・日雇等(契約職員、派遣職員を含む))	100.0 (157)	5.1	5.1	8.3	13.4	17.2	21.0	28.0	1.9	

注) 仕事の種類〔複数回答〕別のうち、「会社等の役員」は、該当者がいないため、省略した。

(7) 仕事をしていく上で困ること〔3つまでの複数回答〕

－性別、年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））である214人が対象

仕事をしていく上で困ることは「相手に対して、言いたい内容が伝わらない」の割合が24.3%

仕事をしていく上で困ることがあるか聞いたところ、「困ることがある」の割合が50.9%、「困ることは特にない」が45.3%となっている。

困ることの内容では、「相手に対して、言いたい内容が伝わらない」の割合が24.3%となっている。

年齢階級別にみると、40代では「相手に対して、言いたい内容が伝わらない」の割合が30.0%となっている。（表Ⅲ-5-4）

表Ⅲ-5-4 仕事をしていく上で困ること〔3つまでの複数回答〕

－性別、年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

	総数	困ることがある	困ることは特にない											困ることは特にない	無回答	
			仕事の内容	人間関係（職場内でのいじめなど）	相手が伝わらない、言いたい内容が伝わらない	相手から言っていることが分からない	職場の（物理的な）バリエーションが不十分	勤務時間・日数	通勤距離・時間	通勤時の混雑	通勤時の混雑	定期的な通院や健康管理との両立	急な体調の変化への配慮がない			その他
総数	100.0 (214)	50.9	8.9	21.0	24.3	14.0	0.9	3.7	5.1	10.3	3.3	3.3	4.2	45.3	3.7	
性別	男	100.0 (158)	51.9	9.5	20.3	25.9	13.3	1.3	4.4	4.4	8.2	2.5	3.2	3.8	46.2	1.9
	女	100.0 (56)	48.2	7.1	23.2	19.6	16.1	-	1.8	7.1	16.1	5.4	3.6	5.4	42.9	8.9
年齢階級別	19歳以下	100.0 (19)	47.4	5.3	21.1	26.3	10.5	-	15.8	10.5	10.5	-	-	-	52.6	-
	20～29歳	100.0 (88)	56.8	9.1	20.5	23.9	13.6	1.1	2.3	5.7	15.9	4.5	1.1	6.8	39.8	3.4
	30～39歳	100.0 (50)	48.0	12.0	26.0	24.0	16.0	-	4.0	2.0	4.0	4.0	8.0	2.0	50.0	2.0
	40～49歳	100.0 (40)	50.0	7.5	20.0	30.0	15.0	2.5	2.5	5.0	7.5	2.5	5.0	2.5	40.0	10.0
	50歳以上	100.0 (17)	35.3	5.9	11.8	11.8	11.8	-	-	5.9	5.9	-	-	5.9	64.7	-
愛の手帳の度別	3度	100.0 (36)	38.9	5.6	11.1	25.0	22.2	2.8	2.8	5.6	2.8	-	2.8	2.8	52.8	8.3
	4度	100.0 (172)	53.5	9.3	22.7	23.3	12.8	0.6	4.1	4.7	12.2	4.1	3.5	4.7	43.6	2.9
回答者別	本人が回答	100.0 (143)	50.3	10.5	22.4	20.3	10.5	0.7	4.2	6.3	10.5	4.2	4.2	5.6	48.3	1.4
	本人以外が回答	100.0 (40)	52.5	5.0	17.5	27.5	12.5	2.5	2.5	5.0	10.0	-	2.5	2.5	45.0	2.5

注1) 愛の手帳の程度別のうち、1度は該当者がいないため、2度は母数が少数のため、省略した。

2) 回答者別のうち、回答者が不明なものは省略した。

(8) 仕事で困ったときの相談先〔複数回答〕

－性別、年齢階級、愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別

※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））である214人が対象

仕事で困ったときの相談先は「家族」の割合が49.1%、「会社の上司」が45.3%

仕事で困ったときの相談先を聞いたところ、「家族」の割合が49.1%、「会社の上司」が45.3%となっている。

年齢階級別にみると、「就労支援センター等の職員」の割合は、30代が42.0%となっている。

「会社の上司」の割合は、19歳以下(57.9%)及び30代(62.0%)、「家族」は、19歳以下(63.2%)及び20代(53.4%)で5割を超えている。（表Ⅲ-5-5）

表Ⅲ-5-5 仕事で困ったときの相談先〔複数回答〕

－性別、年齢階級、愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別

		総数	会社の上司	会社の同僚	職場に派遣された ジョブコーチ	就労支援センター等の 職員	家族	会社 の同僚 以外の友人	施 設 の 職 員 、 グ ル ー プ の 世 話 人 等	出 身 校 の 教 員	そ の 他	相 談 す る 相 手 は い な い	今 ま で 特 に 困 っ た こ と は な い	無 回 答
総数		100.0 (214)	45.3	23.4	4.7	26.2	49.1	9.8	8.9	6.1	1.9	1.4	8.9	4.7
性別	男	100.0 (158)	45.6	19.6	5.7	25.3	48.1	11.4	9.5	5.7	2.5	1.9	9.5	3.8
	女	100.0 (56)	44.6	33.9	1.8	28.6	51.8	5.4	7.1	7.1	-	-	7.1	7.1
年齢階級別	19歳以下	100.0 (19)	57.9	31.6	-	15.8	63.2	15.8	-	15.8	5.3	-	5.3	-
	20～29歳	100.0 (88)	43.2	27.3	5.7	21.6	53.4	13.6	5.7	11.4	-	1.1	10.2	3.4
	30～39歳	100.0 (50)	62.0	24.0	8.0	42.0	46.0	6.0	10.0	-	6.0	2.0	6.0	2.0
	40～49歳	100.0 (40)	32.5	12.5	2.5	27.5	37.5	7.5	20.0	-	-	-	10.0	10.0
	50歳以上	100.0 (17)	23.5	17.6	-	11.8	47.1	-	5.9	-	-	5.9	11.8	11.8
愛の手帳の 程度別	3度	100.0 (36)	50.0	16.7	2.8	16.7	47.2	2.8	8.3	-	5.6	-	2.8	5.6
	4度	100.0 (172)	45.3	25.6	5.2	28.5	50.6	11.0	9.3	7.6	1.2	1.7	9.9	4.1
仕事の種類 別〔複数回答〕	正規の職員・従業員	100.0 (57)	45.6	29.8	3.5	22.8	52.6	7.0	10.5	5.3	-	-	8.8	3.5
	非正規の職員・従業員 (パート・アルバイト・ 日雇等(契約職員、 派遣職員を含む))	100.0 (157)	45.2	21.0	5.1	27.4	47.8	10.8	8.3	6.4	2.5	1.9	8.9	5.1

注1) 愛の手帳の程度別のうち、1度は該当者がいないため、2度は母数が少数のため、省略した。

2) 仕事の種類〔複数回答〕別のうち、「会社等の役員」は、該当者がいないため、省略した。

(9) 福祉的就労経験の有無一性別、仕事の種類〔複数回答〕別

※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））である214人が対象

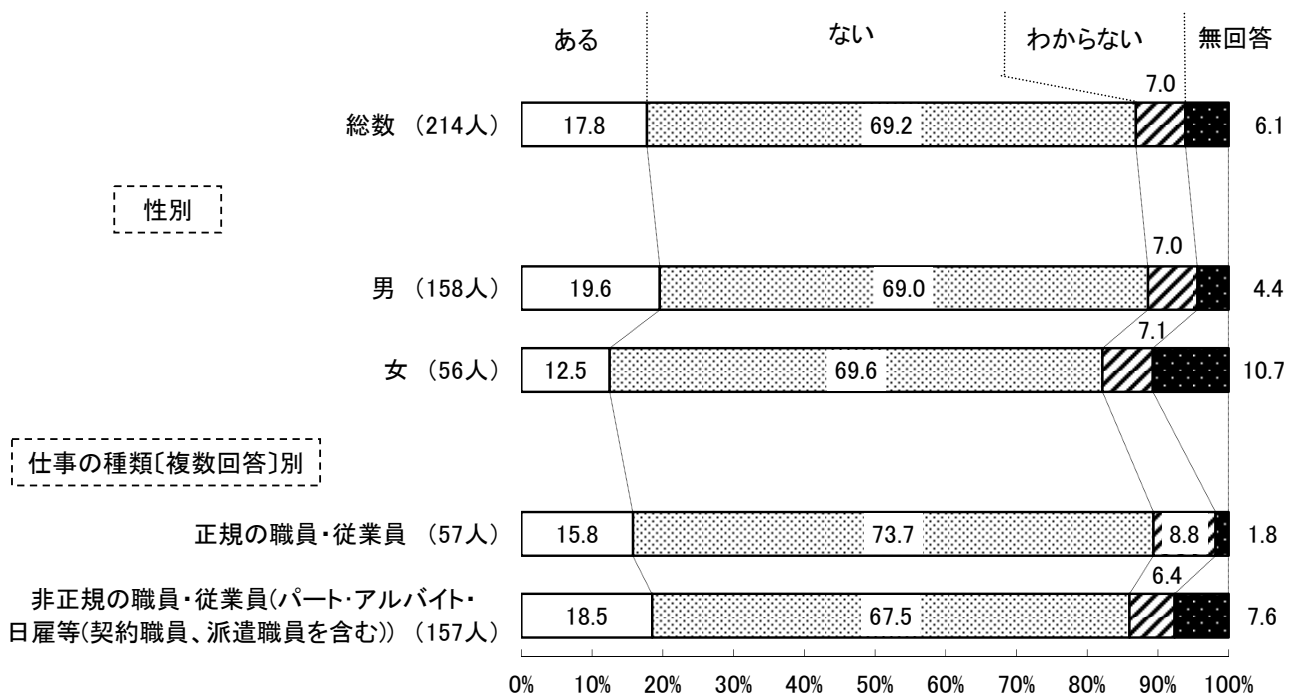
これまで^{ふくしてきしゅうろう}に福祉的就労をしたことが「ある」^{わりあい}割合は17.8%

これまでに、福祉的就労をしたことがあるか聞いたところ、「ある」の割合が17.8%、「ない」が69.2%となっている。

仕事の種類別にみると、「ある」の割合は、正規の職員・従業員が15.8%、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））が18.5%となっている。

(図Ⅲ-5-4)

図Ⅲ-5-4 福祉的就労経験の有無一性別、仕事の種類〔複数回答〕別



注) 仕事の種類〔複数回答〕別のうち、「会社等の役員」は、該当者がいないため、省略した。

(10) 現在、仕事をしていない理由、又は福祉的就労をしている理由〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、収入を伴う仕事の有無、回答者別

※仕事をしていない又は福祉的就労をしている（就労継続支援A型・B型、就労移行支援）

536人が対象

現在、仕事をしていない理由、又は福祉的就労をしている理由は「健康・体力上の理由（病気等を含む）」の割合が41.6%、「受け入れてくれる職場が見つからないため」が26.9%

現在、仕事をしていない又は福祉的就労をしている理由を聞いたところ、「健康・体力上の理由（病気等を含む）」の割合が41.6%、「受け入れてくれる職場が見つからないため」が26.9%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、「健康・体力上の理由（病気等を含む）」の割合は、1度が61.0%となっている。また、「受け入れてくれる職場が見つからないため」の割合は、3度が40.3%となっている。

収入を伴う仕事の有無別にみると、福祉的就労をしている人では「受け入れてくれる職場が見つからないため」の割合が34.1%となっている。（表Ⅲ-5-6）

表Ⅲ-5-6 現在、仕事をしていない理由、又は福祉的就労をしている理由〔3つまでの複数回答〕
一年齢階級、愛の手帳の程度、収入を伴う仕事の有無、回答者別

		総数	ない 自分 にあ った 仕事 が	健康・ 体力上 の理 由 (病 気等 を含 む)	会社 倒産 、人 員整 理 等	家庭 の都 合(結 婚、 介護 など)	高齢 のた め (定 年を 含む)	人間 関係 が難 しい ため	学校 など で勉 強し て いる ため	が受 け入 れて くれ ない た る 職 場	働く 必要 がな いた め	働か たく ない た め	その 他	無 回 答
総数		100.0 (536)	25.7	41.6	0.6	2.6	3.4	22.4	3.4	26.9	2.8	2.8	12.5	11.4
年齢 階級 別	19歳以下	100.0 (40)	22.5	22.5	-	-	-	17.5	35.0	15.0	7.5	-	5.0	12.5
	20～29歳	100.0 (164)	34.1	44.5	0.6	1.8	-	28.0	2.4	32.3	0.6	1.8	12.2	7.3
	30～39歳	100.0 (102)	27.5	38.2	1.0	3.9	-	16.7	-	30.4	2.0	-	19.6	17.6
	40～49歳	100.0 (130)	21.5	38.5	0.8	2.3	-	22.3	-	26.9	3.1	3.8	16.2	10.8
	50～59歳	100.0 (55)	20.0	52.7	-	3.6	1.8	25.5	-	21.8	3.6	3.6	3.6	16.4
	60歳以上	100.0 (45)	13.3	51.1	-	4.4	37.8	15.6	-	15.6	6.7	11.1	4.4	6.7
愛の 手帳 の程 度別	1度	100.0 (41)	14.6	61.0	-	2.4	2.4	-	-	17.1	2.4	-	12.2	14.6
	2度	100.0 (188)	23.9	42.6	0.5	1.1	0.5	13.8	1.6	25.5	2.1	2.7	18.1	12.2
	3度	100.0 (124)	33.9	31.5	0.8	0.8	2.4	31.5	4.0	40.3	2.4	2.4	11.3	9.7
	4度	100.0 (176)	25.6	42.6	0.6	5.7	5.7	31.3	5.1	21.6	3.4	4.0	7.4	11.4
収入 を伴 う 仕事 の有 無別	仕事をしていない	100.0 (272)	22.4	49.3	-	2.6	5.1	17.3	6.3	19.9	5.1	4.8	11.4	7.4
	福祉的就労をしている (就労継続支援A型・ B型、就労移行支援)	100.0 (264)	29.2	33.7	1.1	2.7	1.5	27.7	0.4	34.1	0.4	0.8	13.6	15.5
回答 者別	本人が回答	100.0 (162)	24.7	38.3	-	5.6	4.9	27.2	4.3	23.5	4.9	3.1	9.9	10.5
	本人以外が回答	100.0 (313)	26.2	44.4	1.0	1.0	2.6	20.1	2.6	29.7	1.9	2.9	15.0	9.3

注) 回答者別のうち、回答者が不明なものは省略した。

(11) 会社等での就労経験の有無－愛の手帳の程度、収入を伴う仕事の有無別

※仕事をしていない、又は福祉的就労をしている(就労継続支援A型・B型、就労移行支援)

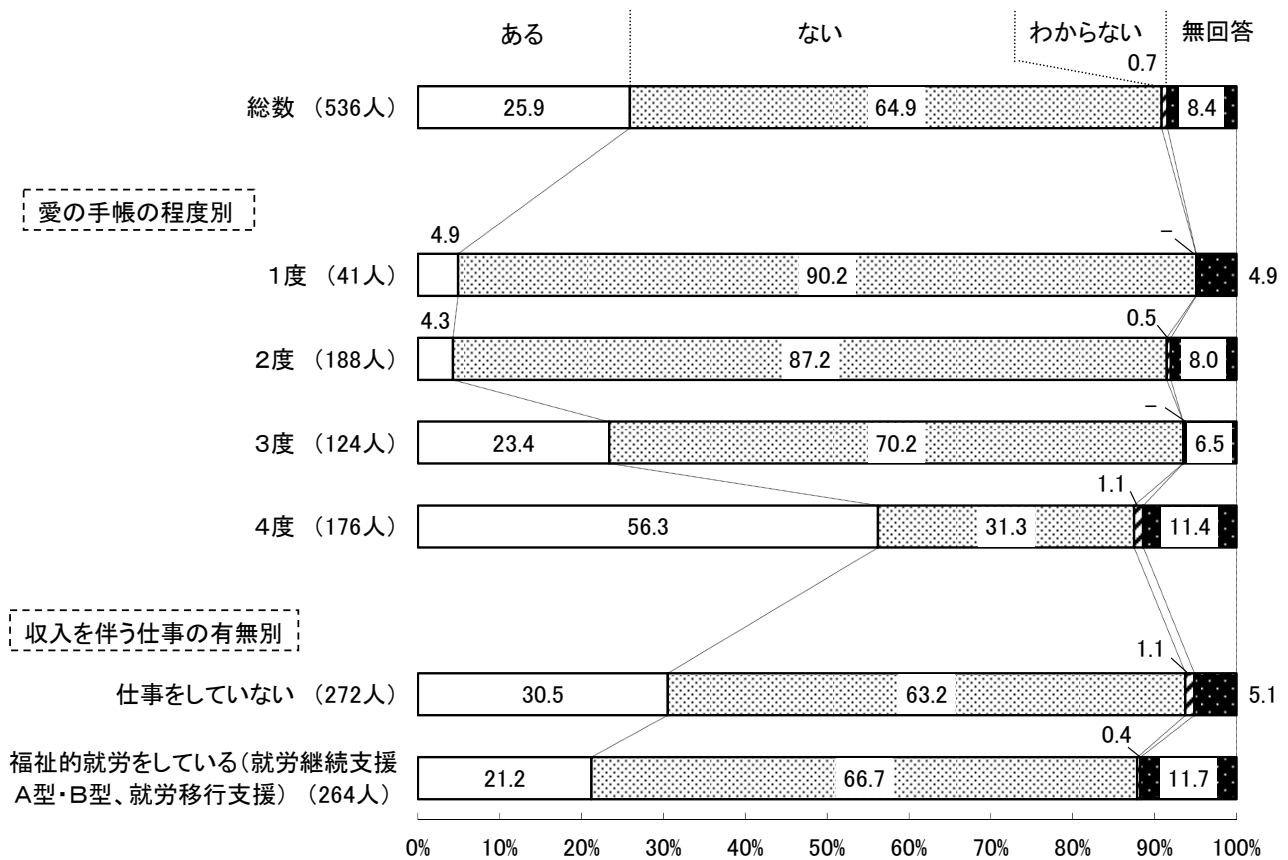
536人が対象

過去、会社等で働いたこと(パート、アルバイト等を含む)が「ある」割合は25.9%

過去に会社等で働いたこと(パート、アルバイト等を含む)があるか聞いたところ、「ある」の割合が25.9%、「ない」が64.9%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、「ある」の割合は、1度及び2度が5%を下回っている。一方で、4度が5割を超えていて最も高くなっている。(図Ⅲ-5-5)

図Ⅲ-5-5 会社等での就労経験の有無－愛の手帳の程度、収入を伴う仕事の有無別



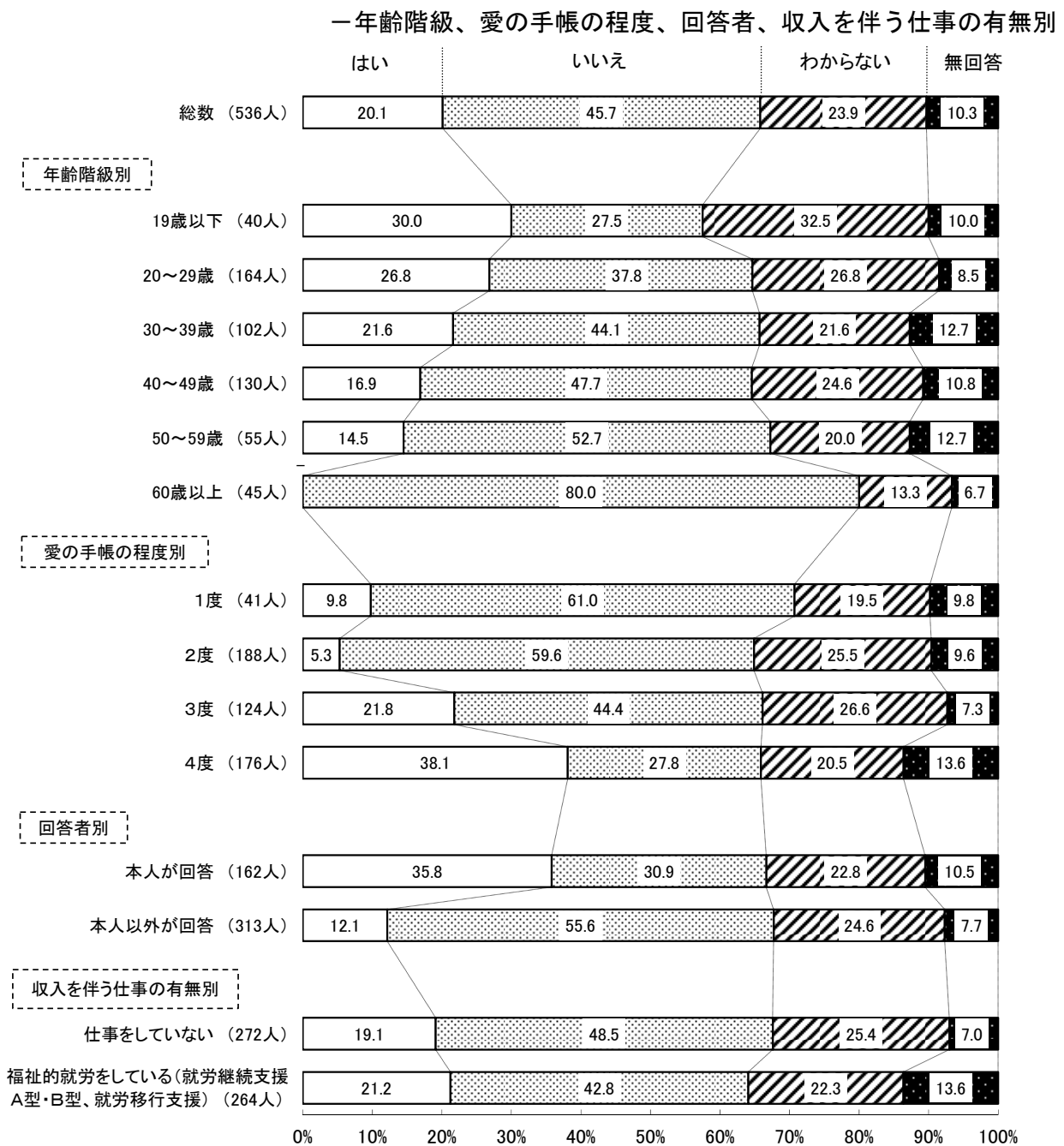
(12) 会社等での就労意向の有無—年齢階級、愛の手帳の程度、回答者、収入を伴う仕事の有無別
 ※仕事をしていない、又は福祉的就労をしている（就労継続支援A型・B型、就労移行支援）
 536人が対象

今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む）割合は20.1%

今後、会社等で働きたいか（パート、アルバイト等を含む）聞いたところ、「はい」の割合が20.1%、「いいえ」が45.7%、「わからない」が23.9%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、「はい」の割合は、4度が38.1%となっている。（図Ⅲ-5-6）

図Ⅲ-5-6 会社等での就労意向の有無



注) 回答者別のうち、回答者が不明なものは省略した。

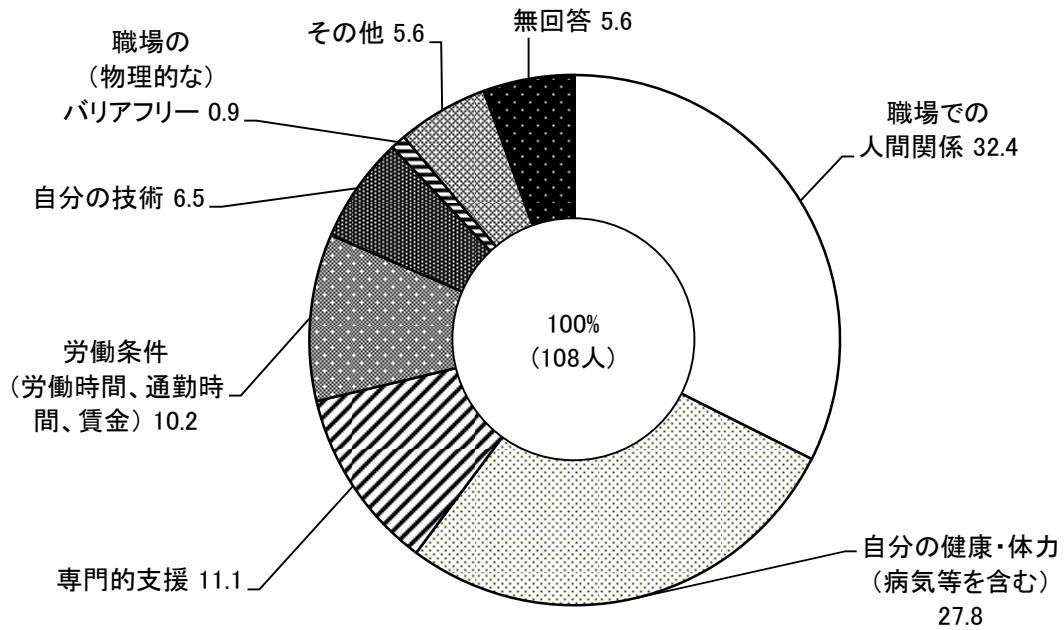
(13) 会社等で働くにあたって心配なこと（課題）

※仕事をしていない、又は福祉的就労をしている（就労継続支援A型・B型、就労移行支援）人の中で、今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む）と答えた108人が対象

かいしゃとう はたら 会社等 で 働く に あ た っ て 心配 な こと (課題) は 「職場 での 人間 関係」 の 割合 が 32.4%

会社等で働くにあたって心配なこと（課題）を聞いたところ、「職場での人間関係」の割合が32.4%、「自分の健康・体力（病気等を含む）」が27.8%となっている。（図Ⅲ-5-7）

図Ⅲ-5-7 会社等で働くにあたって心配なこと（課題）



6 経済基盤

(1) 収入の種類〔3つまでの複数回答〕－愛の手帳の程度別

収入の種類は「年金・恩給」の割合が最も高く63.0%。「賃金・給料」の割合は、平成25年度調査よりも7.8ポイント増加し36.7%

平成29年中の収入の種類を聞いたところ、「年金・恩給」の割合が63.0%で最も高く、また、「賃金・給料」が36.7%、「手当」が35.1%、「作業所等の工賃」が20.9%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、3度では「作業所等の工賃」が32.5%、4度では「賃金・給料」が55.5%となっている。

平成25年度調査と比べて、「賃金・給料」の割合は、7.8ポイント増加している。（表Ⅲ-6-1）

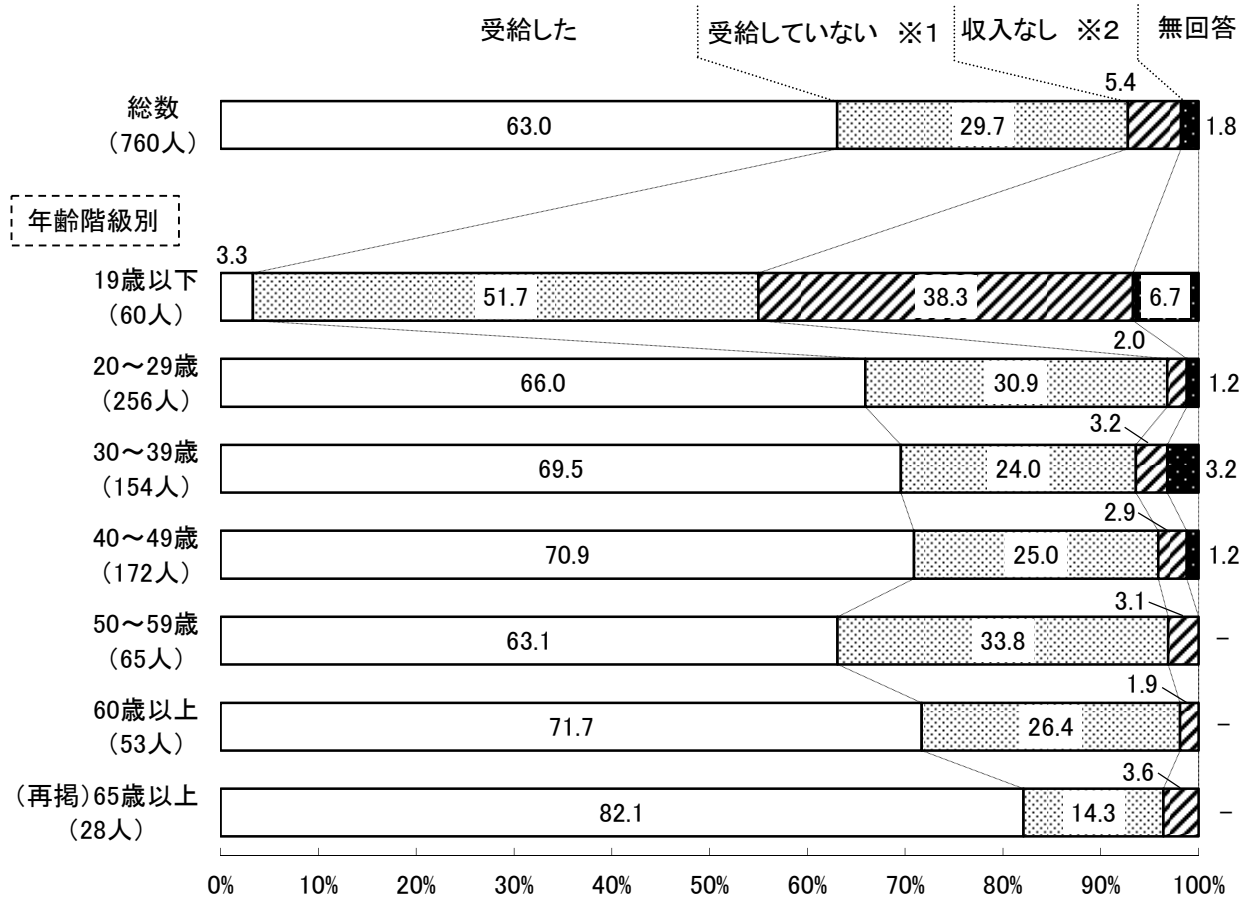
表Ⅲ-6-1 収入の種類〔3つまでの複数回答〕－愛の手帳の程度別

	総数	賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利子・配当	仕送り・小遣い	養育費・慰謝料	年金・恩給	生活保護費	手当	雇用保険	保険金・補償金	作業所等の工賃	その他の収入	収入はなかった	無回答
総数	100.0 (760)	36.7	0.1	0.4	0.3	0.1	4.3	0.1	63.0	8.0	35.1	0.7	-	20.9	1.2	5.4	1.8
1度	100.0 (41)	9.8	-	-	-	-	-	-	75.6	2.4	63.4	-	-	7.3	2.4	2.4	-
2度	100.0 (191)	6.3	-	-	0.5	-	5.8	0.5	80.6	2.1	49.2	0.5	-	30.9	1.6	4.7	2.1
3度	100.0 (163)	39.3	-	0.6	0.6	-	4.9	-	73.6	3.7	34.4	-	-	32.5	1.2	5.5	0.6
4度	100.0 (353)	55.5	0.3	0.6	-	0.3	4.0	-	47.6	13.9	24.9	1.1	-	12.5	0.8	5.9	2.0
平成25年度	100.0 (810)	28.9	-	0.2	0.5	0.1	3.7	-	65.7	4.2	37.7	0.2	0.2	27.9	0.9	5.3	2.2

(2) 年金・恩給の受給の有無一年齢階級別

平成29年中に年金・恩給を受給したか聞いたところ、「受給した」の割合が63.0%、「受給していない」が29.7%となっている。(図Ⅲ-6-1)

図Ⅲ-6-1 年金・恩給の受給の有無一年齢階級別



注1) ※1は、年金・恩給を受給していないが、その他の収入があったものを表している。

2) ※2は、年金・恩給を含め、収入が何もなかったものを表している。

(3) 年金・恩給の収入額一年齢階級、愛の手帳の程度別

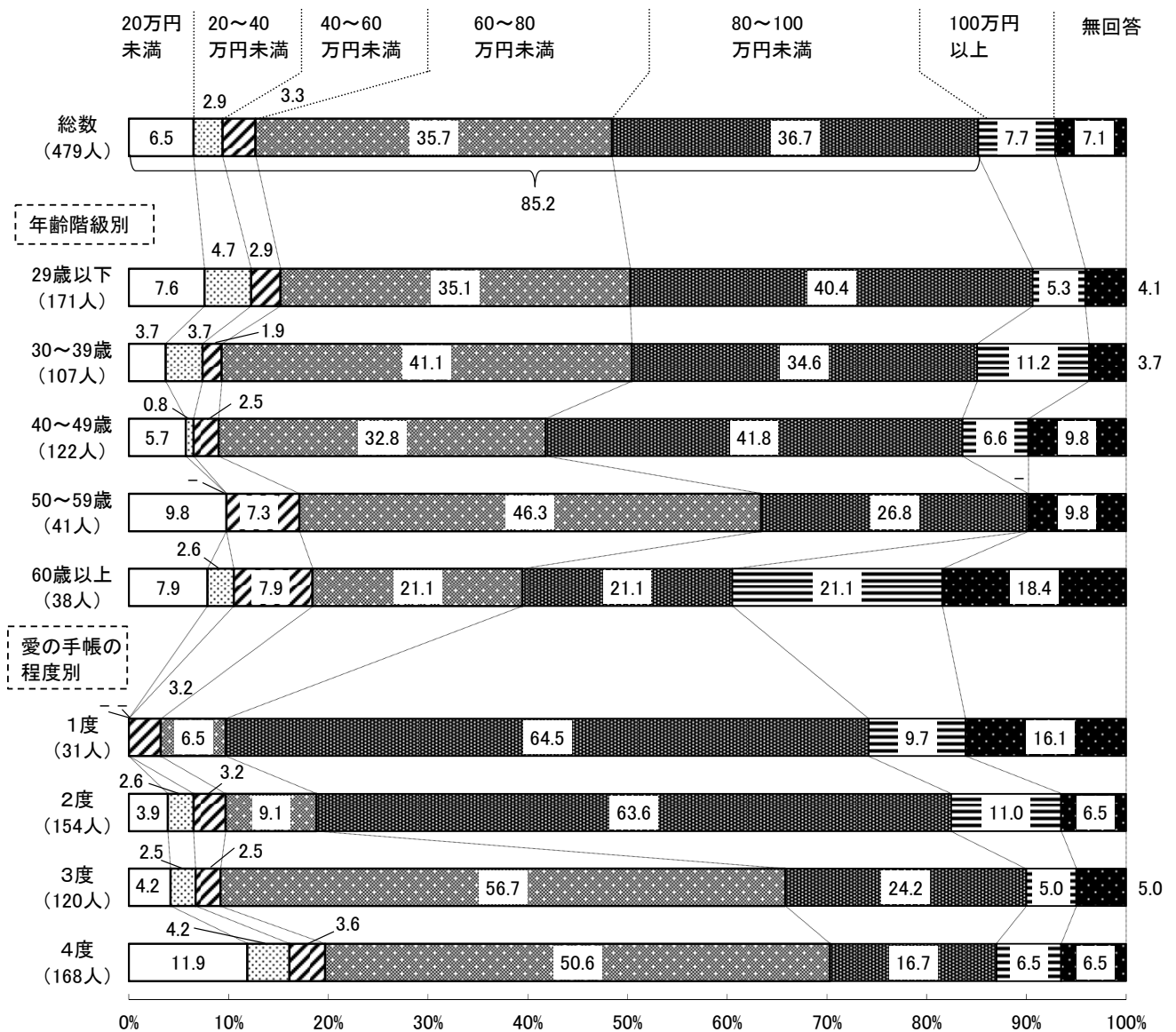
※年金・恩給を受給している 479 人が対象

年金・恩給の収入額は「100万円未満」の割合が 85.2%

平成 29 年中における年金・恩給の収入額を聞いたところ、「80～100 万円未満」の割合が 36.7%、「60～80 万円未満」が 35.7%で、100 万円未満の割合は 85.2%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、1 度及び 2 度では「80 万～100 万円未満」の割合が最も高く 6 割を超えている (64.5%、63.6%)。3 度及び 4 度では「60 万～80 万円未満」の割合が最も高く 5 割を超えている (56.7%、50.6%)。(図Ⅲ-6-2)

図Ⅲ-6-2 年金・恩給の収入額一年齢階級、愛の手帳の程度別



(4) 年間収入額（生活保護費を除く）一年齢階級、愛の手帳の程度別

ねんしゅう
 年収は「50～100万円未満」の割合が27.0%
 まんえんみまん わりあい

平成29年中の収入額を聞いたところ、「50～100万円未満」の割合が27.0%、「100～150万円未満」が21.6%となっている。（表Ⅲ-6-2）

表Ⅲ-6-2 年間収入額（生活保護費を除く）一年齢階級、愛の手帳の程度別

		総数	収入なし	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500万円以上	無回答
総数		100.0 (760)	7.4	12.1	27.0	21.6	13.4	6.8	1.6	0.5	0.1	0.1	9.3
年齢階級別	19歳以下	100.0 (60)	41.7	30.0	11.7	6.7	3.3	-	-	-	-	-	6.7
	20～29歳	100.0 (256)	3.1	11.7	26.2	28.9	15.6	7.0	2.0	0.4	-	-	5.1
	30～39歳	100.0 (154)	2.6	8.4	27.3	19.5	20.1	11.7	3.2	-	-	-	7.1
	40～49歳	100.0 (172)	4.7	9.3	29.1	21.5	12.8	7.0	1.2	0.6	-	-	14.0
	50～59歳	100.0 (65)	6.2	13.8	33.8	13.8	6.2	3.1	-	1.5	1.5	1.5	18.5
	60歳以上	100.0 (53)	13.2	11.3	32.1	18.9	5.7	3.8	-	1.9	-	-	13.2
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (41)	2.4	9.8	36.6	4.9	19.5	12.2	2.4	-	-	2.4	9.8
	2度	100.0 (191)	5.2	9.4	25.1	31.9	13.1	4.7	-	-	-	-	10.5
	3度	100.0 (163)	5.5	10.4	38.0	20.2	9.8	4.9	2.5	0.6	-	-	8.0
	4度	100.0 (353)	9.6	15.0	21.8	19.0	15.0	8.5	1.7	0.8	0.3	-	8.2
平成25年度		100.0 (810)	6.9	11.7	30.2	23.1	13.5	6.5	1.7	0.5	0.2	0.1	5.4

7 社会参加等

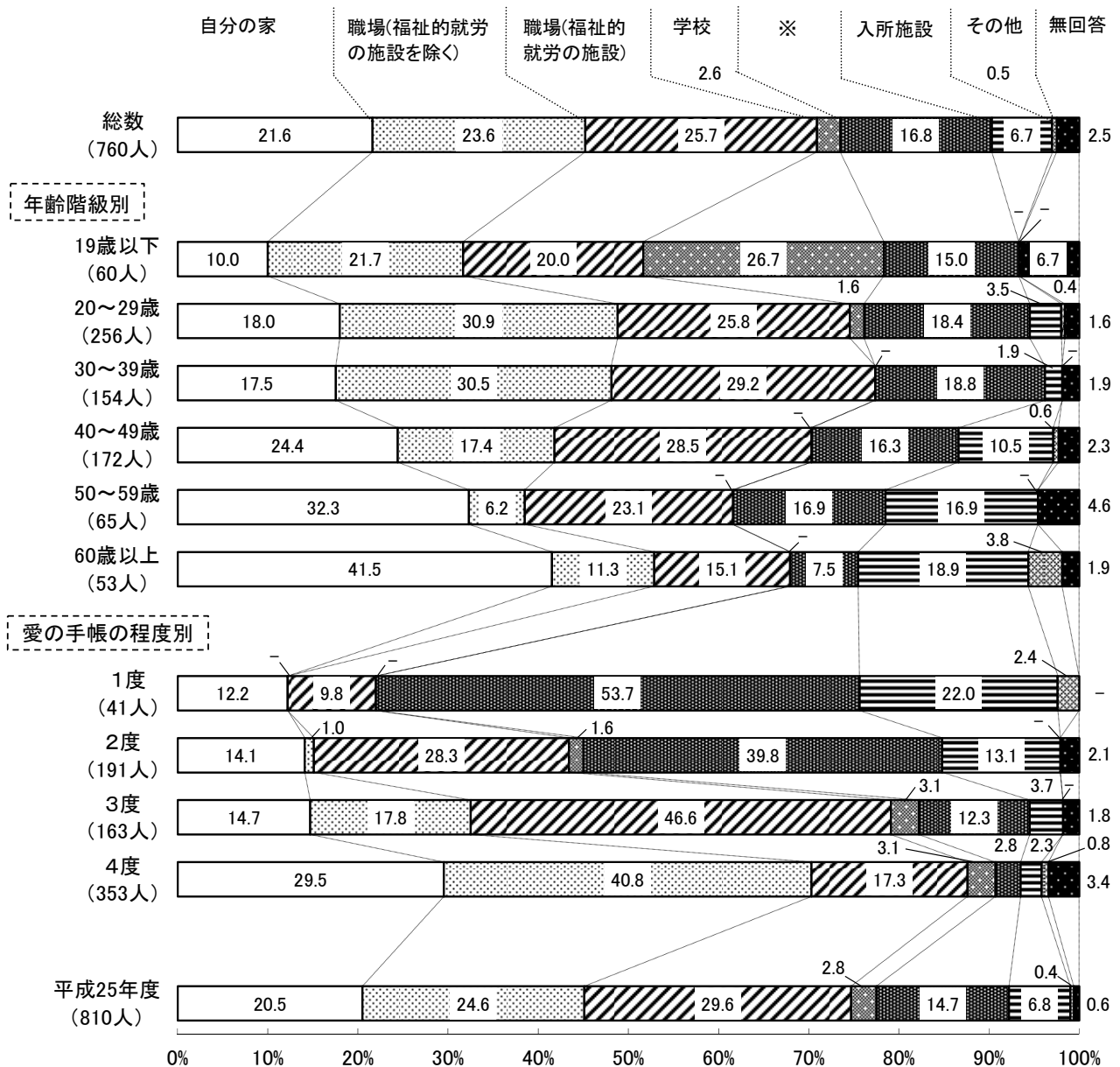
(1) 平日の日中主に過ごしたところ一年齢階級、愛の手帳の程度別

平日の日中主に過ごしたところは「職場（福祉的就労の施設）」が25.7%

平日の日中に過ごしたところについて聞いたところ、「職場（福祉的就労の施設）」の割合が25.7%、「職場（福祉的就労の施設を除く）」が23.6%、「自分の家」が21.6%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、1度及び2度では「通所施設（生活介護、デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く）」の割合がそれぞれ53.7%、39.8%、3度では「職場（福祉的就労の施設）」が46.6%、4度では「職場（福祉的就労の施設を除く）」が40.8%となっている。（図Ⅲ-7-1）

図Ⅲ-7-1 平日の日中に過ごしたところ一年齢階級、愛の手帳の程度別



注) ※は、「通所施設（生活介護、デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く）」で、平成25年度調査では「通所施設（デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く）」としていた。

(2) 現在利用している施設に満足しているかー性別、年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

※平日の日中主に職場（福祉的就労の施設）又は通所施設（生活介護、デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く）で過ごしている 323 人が対象

げんざいりよう
現在利用している施設しせつに満足まんぞくしている（「とても満足まんぞくしている」＋「満足まんぞくしている」＋「だいたい満足まんぞくしている」）割合は 72.4%。そのうち、「とても満足まんぞくしている」割合は 26.6%

現在利用している施設に満足しているか聞いたところ、「とても満足している」と答えた割合は 26.6%で、「満足している」(29.7%) 及び「だいたい満足している」(16.1%) と合わせると、72.4%の人が満足していると回答している。

一方で、不満である（「やや不満である」(4.0%)、「不満である」(1.5%)、「とても不満である」(0.9%) の合計）と答えた割合は 6.5%となっている。

回答者別にみると、満足している（「とても満足している」、「満足している」、「だいたい満足している」の合計）と答えた割合は、本人以外が回答した場合では 75.6%、本人が回答した場合では 59.2%となっている。（表Ⅲ-7-1）

表Ⅲ-7-1 現在利用している施設に満足しているかー性別、年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

		総数	とても満足	満足している	だいたい満足	ふつう	やや不満である	不満である	とても不満である	無回答
総数		100.0 (323)	<u>26.6</u>	<u>29.7</u>	<u>16.1</u>	17.3	<u>4.0</u>	<u>1.5</u>	<u>0.9</u>	3.7
			<u>72.4</u>					<u>6.5</u>		
性別	男	100.0 (198)	28.8	29.3	14.6	19.2	3.0	1.0	0.5	3.5
	女	100.0 (125)	23.2	30.4	18.4	14.4	5.6	2.4	1.6	4.0
年齢階級別	19歳以下	100.0 (21)	28.6	28.6	9.5	9.5	-	4.8	9.5	9.5
	20～29歳	100.0 (113)	28.3	29.2	20.4	16.8	2.7	1.8	-	0.9
	30～39歳	100.0 (74)	12.2	33.8	23.0	20.3	5.4	1.4	-	4.1
	40～49歳	100.0 (77)	35.1	22.1	11.7	18.2	6.5	-	-	6.5
	50～59歳	100.0 (26)	23.1	50.0	-	15.4	-	3.8	3.8	3.8
	60歳以上	100.0 (12)	50.0	16.7	8.3	16.7	8.3	-	-	-
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (26)	11.5	42.3	23.1	7.7	11.5	3.8	-	-
	2度	100.0 (130)	29.2	29.2	20.0	16.2	0.8	1.5	-	3.1
	3度	100.0 (96)	24.0	30.2	13.5	18.8	6.3	1.0	-	6.3
	4度	100.0 (71)	31.0	25.4	9.9	21.1	4.2	1.4	4.2	2.8
回答者別	本人が回答	100.0 (76)	<u>31.6</u>	<u>17.1</u>	<u>10.5</u>	23.7	9.2	2.6	1.3	3.9
	本人以外が回答	100.0 (209)	<u>23.9</u>	<u>34.4</u>	<u>17.2</u>	15.3	2.9	1.4	1.0	3.8
			<u>75.6</u>							

注) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(3) 趣味や社会活動への参加〔複数回答〕一年齢階級、愛の手帳の程度別

平成25年度調査よりも「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、見物」の割合が4.5ポイント増加

この1年間に行った趣味、学習、スポーツ、社会活動などについて聞いたところ、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、見物」の割合が41.4%、「スポーツやレジャーなどの活動」が32.6%となっている。

年齢階級別にみると、「活動したいと思わない」の割合は、60代以上が24.5%となっている。また、19歳以下及び30代では「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、見物」の割合が5割を超えている(51.7%、50.6%)。

平成25年度調査と比べて、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、見物」の割合が4.5ポイント増加し41.4%に、「活動したいと思うができない」が2.6ポイント減少し11.2%に、「活動したいと思わない」が3.0ポイント減少し10.0%となっている。(表Ⅲ-7-2)

表Ⅲ-7-2 趣味や社会活動への参加〔複数回答〕一年齢階級、愛の手帳の程度別

		総数	見物 スポーツ などの鑑賞、	スポーツ やレジャー などの活動	学習活動	趣味のサークル活動	NPO活動 ボランティア活動や	障害者団体などの活動	参加 できない 活動場所が	活動 したい と思うが	活動 したい と思わない	その他	無回答
総数		100.0 (760)	41.4	32.6	8.2	14.9	3.6	19.9	4.5	11.2	10.0	7.5	3.9
年齢階級別	19歳以下	100.0 (60)	51.7	45.0	23.3	18.3	3.3	15.0	5.0	5.0	6.7	1.7	5.0
	20～29歳	100.0 (256)	48.4	35.5	9.0	14.1	3.1	21.1	4.3	11.7	6.6	8.2	3.5
	30～39歳	100.0 (154)	50.6	37.0	8.4	23.4	5.2	22.7	2.6	9.7	3.9	4.5	3.2
	40～49歳	100.0 (172)	31.4	29.1	4.7	7.0	1.2	21.5	6.4	12.8	14.0	9.3	5.2
	50～59歳	100.0 (65)	24.6	18.5	1.5	15.4	9.2	13.8	3.1	13.8	18.5	7.7	3.1
	60歳以上	100.0 (53)	22.6	20.8	5.7	15.1	1.9	13.2	5.7	11.3	24.5	13.2	3.8
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (41)	17.1	29.3	2.4	7.3	2.4	22.0	7.3	17.1	4.9	7.3	7.3
	2度	100.0 (191)	36.6	36.6	3.1	13.1	3.1	22.5	6.8	18.8	6.8	4.7	4.2
	3度	100.0 (163)	49.7	38.0	11.0	22.7	3.7	21.5	3.7	6.1	8.0	9.2	1.8
	4度	100.0 (353)	44.2	28.0	9.9	13.0	4.0	18.1	3.4	8.5	13.0	8.2	4.5
平成25年度		100.0 (810)	36.9	33.1	10.4	14.7	5.1	20.2	4.1	13.8	13.0	8.8	4.0

(4) 社会参加をする上で妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

－愛の手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別

社会参加をする上で妨げになっていることは「まわりの人の障害者に対する理解不足」の割合が、平成25年度調査よりも3.1ポイント増加し20.3%

社会参加をする上で妨げになっていることがあるか聞いたところ、「まわりの人の障害者に対する理解不足」の割合が20.3%、「一緒に行く仲間がいない」が15.4%、「電車やバスなどを使つての移動が不便」が14.9%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、1度では「電車やバスなどを使つての移動が不便」の割合が39.0%となっている。

平成25年度調査と比べて、「まわりの人の障害者に対する理解不足」の割合は3.1ポイント増加している。（表Ⅲ-7-3）

表Ⅲ-7-3 社会参加する上で妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

－愛の手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別

		総数	分道 から ない	電 車 や バ ス な ど の 表 示 が	使 つ て の 移 動 が 不 便	介 助 者 が い な い	情 報 が な い	ま わ り の 人 の 障 害 者 に 対 す る 理 解 不 足	障 害 を 理 由 に 施 設 等 の 利 用 を 拒 否 さ れ る	適 切 な 指 導 者 が い な い	一 緒 に 行 く 仲 間 が い な い	配 慮 が さ れ な い ※	他 の 特 に な い	無 回 答
総数		100.0 (760)	13.2	14.9	13.9	5.9	20.3	1.8	8.0	15.4	4.1	9.9	38.2	3.8
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	100.0 (41)	4.9	39.0	22.0	2.4	26.8	4.9	4.9	2.4	4.9	19.5	26.8	2.4
	2度	100.0 (191)	18.3	14.7	26.2	5.8	28.3	1.6	8.9	7.9	4.2	14.7	22.5	5.2
	3度	100.0 (163)	18.4	20.2	16.0	6.1	20.9	1.2	9.8	23.9	3.1	8.6	29.4	4.9
	4度	100.0 (353)	9.3	9.9	5.7	5.9	15.0	2.0	6.8	17.3	4.5	7.1	51.3	2.5
主 に 過 ご し た と こ ろ 別	自分の家	100.0 (164)	9.8	11.6	8.5	6.1	22.0	1.2	7.3	20.1	6.1	14.0	36.6	3.7
	職場(福祉的就労の施設を除く)	100.0 (179)	9.5	8.4	2.8	5.0	17.3	0.6	5.6	14.0	2.2	4.5	59.2	0.6
	職場(福祉的就労の施設)	100.0 (195)	18.5	18.5	20.5	7.2	22.1	2.6	12.8	20.0	4.1	7.7	31.3	3.1
	学校	100.0 (20)	15.0	25.0	15.0	15.0	25.0	-	-	20.0	15.0	-	40.0	-
	通所施設(生活介護、デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く)	100.0 (128)	15.6	25.0	26.6	3.9	21.9	3.1	6.3	8.6	3.1	15.6	17.2	6.3
	入所施設	100.0 (51)	13.7	9.8	13.7	7.8	19.6	2.0	5.9	2.0	3.9	13.7	43.1	5.9
平成25年度		100.0 (810)	11.9	14.1	16.5	8.9	17.2	1.1	8.3	16.9	...	9.3	38.5	4.6

注1) ※は、平成25年度調査では選択肢を設けていなかった。

2) 平日の日中主に過ごしたところ別のうち、「その他」は、母数が少数のため、省略した。

(5) 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

しょうがい 障害のためにあきらめたり妥協したことは、^{だきょう}「就職」の割合が 33.4%、^{けっこん}「結婚」が 29.6%、^{いせい}「異性との付き合い」が 28.4%

障害のためにあきらめたり、妥協せざるを得なかったことを聞いたところ、「就職」の割合が 33.4%、「結婚」が 29.6%、「異性との付き合い」が 28.4%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、1度では「旅行や遠くへの外出」の割合が 58.5%となっている。

平成 25 年度調査と比べて、「進学」の割合が 3.9 ポイント増加し 25.5%に、「就職」が 4.5 ポイント増加し 33.4%に、「異性との付き合い」が 3.6 ポイント増加し 28.4%となっている。

(表Ⅲ-7-4)

表Ⅲ-7-4 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

		総数	進学	就職	異性との付き合い	結婚	出産・育児	人付き合い	近くへの外出	旅行や遠くへの外出	おしゃやれ フ ア ッ シ ヨ ン な ど の	スポーツ・文化活動	その他	特 に な い	無 回 答
総数		100.0 (760)	<u>25.5</u>	<u>33.4</u>	<u>28.4</u>	<u>29.6</u>	16.7	25.4	14.6	25.5	11.8	17.5	3.4	33.2	4.2
年 齢 階 級 別	19歳以下 (60)	100.0	26.7	26.7	20.0	13.3	10.0	16.7	11.7	20.0	10.0	20.0	1.7	41.7	5.0
	20～29歳 (256)	100.0	29.7	36.7	28.9	26.6	21.5	28.1	16.0	27.3	11.3	19.5	3.5	29.3	3.5
	30～39歳 (154)	100.0	27.3	33.8	37.7	38.3	16.9	24.0	11.7	26.0	13.6	18.8	3.9	32.5	3.2
	40～49歳 (172)	100.0	21.5	32.6	25.0	31.4	13.4	24.4	16.9	24.4	14.0	15.7	3.5	35.5	4.7
	50～59歳 (65)	100.0	21.5	36.9	26.2	30.8	12.3	29.2	10.8	24.6	6.2	10.8	4.6	26.2	6.2
	60歳以上 (53)	100.0	17.0	22.6	22.6	30.2	17.0	24.5	17.0	26.4	11.3	15.1	1.9	45.3	5.7
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度 (41)	100.0	41.5	43.9	46.3	48.8	48.8	41.5	34.1	<u>58.5</u>	39.0	46.3	4.9	17.1	4.9
	2度 (191)	100.0	34.0	44.0	37.2	37.7	26.2	26.2	26.2	36.6	20.4	27.7	5.2	27.7	5.8
	3度 (163)	100.0	29.4	34.4	29.4	31.9	16.0	26.4	12.9	29.4	11.7	14.7	3.1	26.4	4.3
	4度 (353)	100.0	17.6	26.6	21.5	22.4	8.5	22.9	7.1	14.4	4.2	10.2	2.3	40.8	2.5
回 答 者 別	本人が回答 (310)	100.0	17.7	23.5	20.0	20.0	8.4	19.4	8.4	16.8	4.8	8.7	2.6	45.2	1.3
	本人以外が回答 (355)	100.0	32.4	41.4	35.2	37.2	23.4	30.7	22.3	32.7	16.9	25.4	4.2	23.9	5.9
平成25年度 (810)		100.0	<u>21.6</u>	<u>28.9</u>	<u>24.8</u>	27.4	15.1	24.7	13.1	28.1	12.7	20.4	3.0	32.6	7.2

注) 回答者別のうち、回答者が不明なものは省略した。

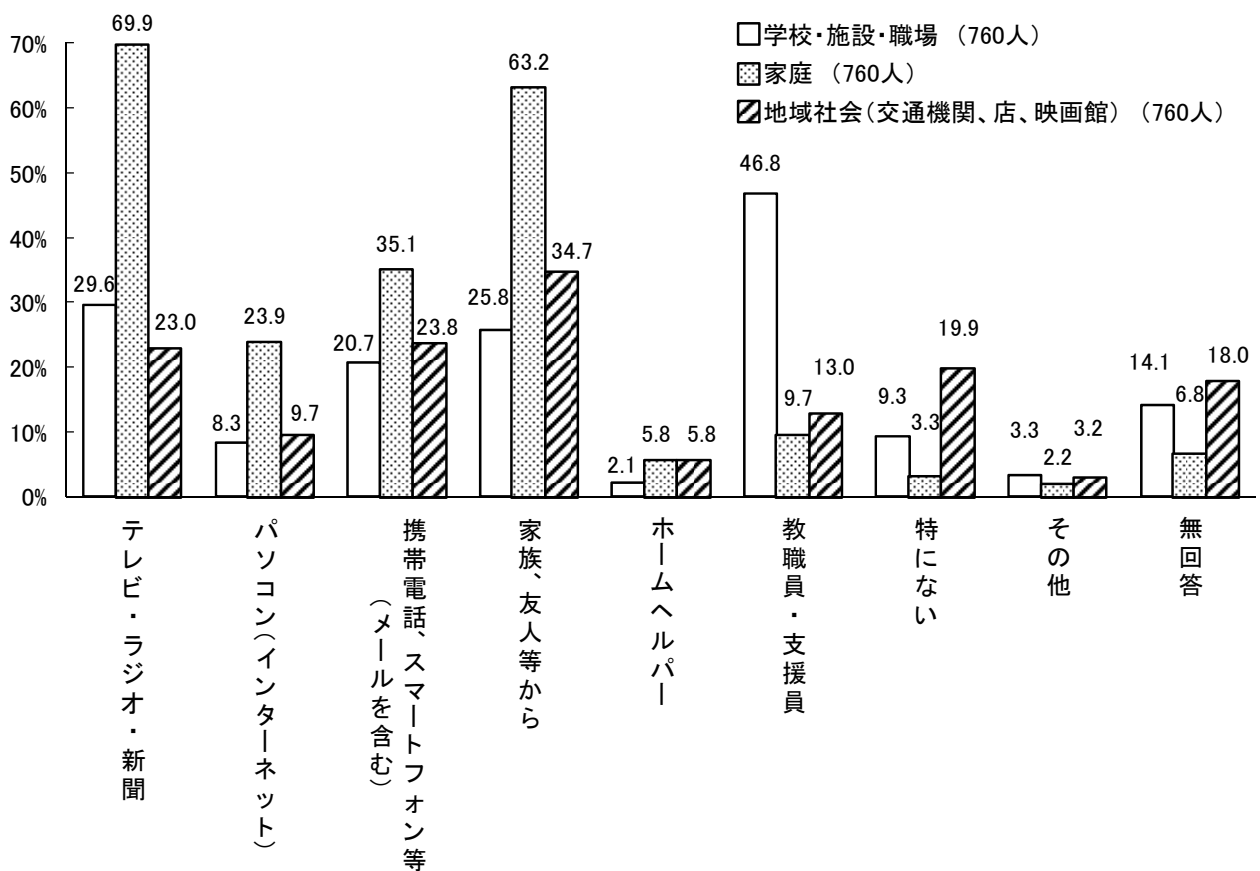
8 情報の入手やコミュニケーションの手段

(1) 情報の入手やコミュニケーションの手段〔複数回答〕

情報の入手やコミュニケーションの手段は、「学校・施設・職場」では「教職員・支援員」の割合が46.8%、「家庭」では「テレビ・ラジオ・新聞」の割合が69.9%、「地域社会（交通機関、店、映画館）」では「家族、友人等から」の割合が34.7%

「学校・施設・職場」、「家庭」、「地域社会（交通機関、店、映画館）」のそれぞれの場所における情報の入手やコミュニケーションの手段について聞いた。「学校・施設・職場」では「教職員・支援員」の割合が46.8%、「家庭」では「テレビ・ラジオ・新聞」が69.9%、「地域社会（交通機関、店、映画館）」では「家族、友人等から」が34.7%となっている。（図Ⅲ-8-1）

図Ⅲ-8-1 情報の入手やコミュニケーションの手段〔複数回答〕



(2) 情報の入手やコミュニケーションの手段〔複数回答〕－回答者別

情報の入手やコミュニケーションの手段を回答者別にみると、「学校・施設・職場」における「教職員・支援員」の割合は、本人以外が回答した場合には61.1%、本人が回答した場合には30.0%となっている。

また、「家庭」における「携帯電話、スマートフォン等（メールを含む）」の割合は、本人が回答した場合には51.6%、本人以外が回答した場合には18.6%となっている。（表Ⅲ-8-1）

表Ⅲ-8-1 情報の入手やコミュニケーションの手段〔複数回答〕－回答者別

		総数	新聞・テレビ・ラジオ	パソコン（インターネット）	含む）携帯電話、スマートフォン等（メールをト	家族、友人等から	ホームヘルパー	教職員・支援員	特にな	その他	無回答
学校・施設・職場	総数	100.0 (760)	29.6	8.3	20.7	25.8	2.1	46.8	9.3	3.3	14.1
	本人が回答	100.0 (310)	35.8	12.3	32.9	24.5	1.0	<u>30.0</u>	7.7	4.2	17.1
	本人以外が回答	100.0 (355)	24.5	5.1	7.3	26.2	2.8	<u>61.1</u>	10.7	2.3	12.1
家庭	総数	100.0 (760)	69.9	23.9	35.1	63.2	5.8	9.7	3.3	2.2	6.8
	本人が回答	100.0 (310)	81.9	29.4	<u>51.6</u>	56.1	3.2	7.7	1.6	1.9	3.9
	本人以外が回答	100.0 (355)	61.7	18.6	<u>18.6</u>	70.4	8.2	10.7	4.5	2.5	8.7
店（交地、映通画機社会館関会）	総数	100.0 (760)	23.0	9.7	23.8	34.7	5.8	13.0	19.9	3.2	18.0
	本人が回答	100.0 (310)	27.4	11.6	37.4	33.5	3.2	7.7	18.1	1.6	15.8
	本人以外が回答	100.0 (355)	17.2	7.0	10.1	35.2	7.9	17.2	22.5	4.8	20.0

注) 回答者別のうち、回答者が不明なものは省略した。

(3) 情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ること〔2つまでの複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることは「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」の割合が32.8%

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがあるか聞いたところ、「困ることがある」と答えた割合が63.3%となっている。

困ることの内容では、「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」の割合が32.8%、「初めて行くところでは、どのように行けばよいか迷う」が30.4%となっている。

回答者別にみると、「困ることがある」の割合は、本人以外が回答した場合には69.0%、本人が回答した場合には55.2%となっている。（表Ⅲ-8-2）

表Ⅲ-8-2 情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ること〔2つまでの複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

	総数	困ることがある	困ることの内容						特に困らない	無回答	
			公共施設の案内等がわかりにくい	迷う	初めての行くところでは、どのように行けばよいか	不明なため人間関係がうまくいかない	まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない	インターネットがわからない			メールの使い方がわからない
総数	100.0 (760)	63.3	10.1	30.4	32.8	5.3	3.6	11.1	30.7	6.1	
年齢階級別	19歳以下	100.0 (60)	70.0	8.3	38.3	35.0	3.3	1.7	10.0	26.7	3.3
	20～29歳	100.0 (256)	68.0	9.4	33.2	40.2	2.3	2.0	11.7	26.2	5.9
	30～39歳	100.0 (154)	67.5	11.0	33.1	37.7	3.9	5.2	11.0	26.6	5.8
	40～49歳	100.0 (172)	57.6	10.5	23.8	24.4	8.7	4.7	12.8	35.5	7.0
	50～59歳	100.0 (65)	52.3	13.8	26.2	24.6	10.8	6.2	4.6	38.5	9.2
	60歳以上	100.0 (53)	52.8	7.5	26.4	17.0	7.5	1.9	11.3	43.4	3.8
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (41)	78.0	17.1	19.5	29.3	-	-	34.1	19.5	2.4
	2度	100.0 (191)	69.6	8.9	24.6	37.7	1.6	1.0	23.6	20.4	9.9
	3度	100.0 (163)	68.7	15.3	38.7	35.6	5.5	3.7	10.4	23.9	7.4
	4度	100.0 (353)	56.4	7.9	31.7	29.2	7.9	5.4	2.0	40.2	3.4
回答者別	本人が回答	100.0 (310)	55.2	9.4	33.9	26.1	7.7	3.9	2.9	42.3	2.6
	本人以外が回答	100.0 (355)	69.0	9.6	25.9	38.3	2.5	1.7	18.9	22.8	8.2

注) 回答者別のうち、回答者が不明のものは省略した。

(4) 意思を伝える場合に困ること〔複数回答〕一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

障害があるため、意思を伝える場合に困ることは「会話」が最も高く60.4%

障害があるため、意思を伝える場合に困ることがあるか聞いたところ、「会話」の割合が60.4%で最も高くなっている。一方で、「困ることはない」の割合が29.6%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、1度及び2度では「会話」の割合が7割を超えている(70.7%、81.2%)。(表Ⅲ-8-3)

表Ⅲ-8-3 意思を伝える場合に困ること〔複数回答〕一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

		総数	会話	筆記	その他	困ることはない	無回答
総数		100.0 (760)	60.4	34.3	5.1	29.6	1.7
年齢階級別	19歳以下	100.0 (60)	60.0	31.7	10.0	30.0	1.7
	20～29歳	100.0 (256)	66.4	35.9	5.1	26.6	1.2
	30～39歳	100.0 (154)	66.2	32.5	3.9	25.3	1.9
	40～49歳	100.0 (172)	55.2	31.4	7.0	33.7	2.3
	50～59歳	100.0 (65)	44.6	38.5	3.1	35.4	1.5
	60歳以上	100.0 (53)	50.9	39.6	-	35.8	1.9
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (41)	70.7	48.8	14.6	12.2	4.9
	2度	100.0 (191)	81.2	56.0	6.8	8.4	3.1
	3度	100.0 (163)	68.1	39.3	6.7	23.9	0.6
	4度	100.0 (353)	45.0	19.3	2.0	45.6	0.6
回答者別	本人が回答	100.0 (310)	44.2	19.4	2.9	47.7	0.3
	本人以外が回答	100.0 (355)	75.8	47.9	5.9	14.1	2.3

注) 回答者別のうち、回答者が不明のものは省略した。

9 障害者総合支援法による障害福祉サービス等

(1) 障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕

※在宅で生活している 693 人が対象

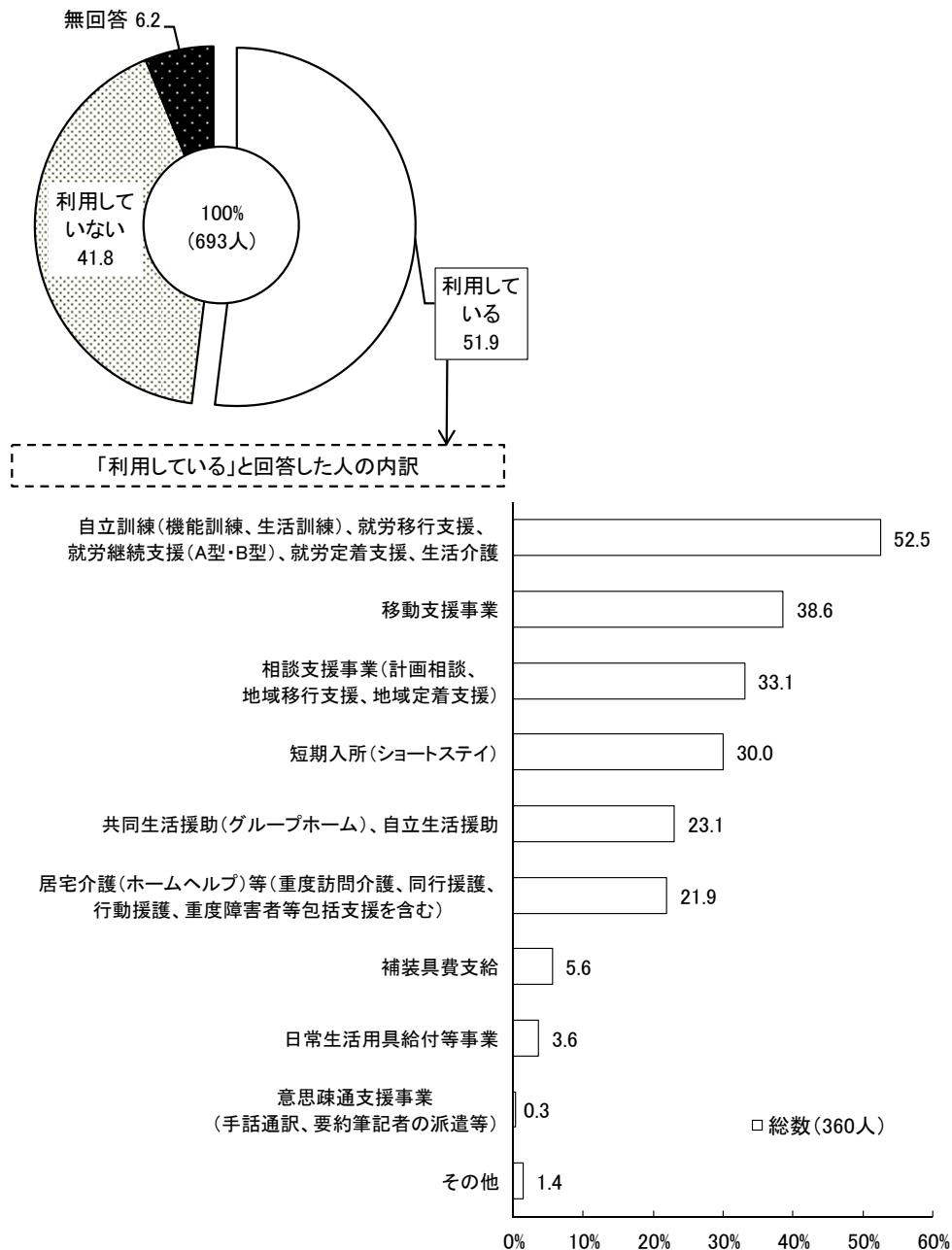
障害者総合支援法による障害福祉サービスを「利用している」割合は51.9%で、利用した内容では「自立訓練（機能訓練、生活訓練）、就労移行支援、就労継続支援（A型・B型）、就労定着支援、生活介護」の割合が52.5%

過去1年間に障害者総合支援法による障害福祉サービスを利用したか聞いたところ、「利用している」の割合が51.9%、「利用していない」が41.8%となっている。

利用した内容では、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）、就労移行支援、就労継続支援（A型・B型）、就労定着支援、生活介護」の割合が52.5%、「移動支援事業」が38.6%となっている。

（図Ⅲ-9-1）

図Ⅲ-9-1 障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕



(2) 障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕

－愛の手帳の程度、愛の手帳以外の手帳所持の有無〔複数回答〕別

障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）を愛の手帳の程度別にみると、1度では「利用している」割合が90.6%となっている。利用したサービス内容では「短期入所（ショートステイ）」の割合が53.1%となっている。

愛の手帳以外の手帳所持の有無別にみると、「利用している」割合は、愛の手帳以外の「手帳あり」では61.2%、「手帳なし」では48.7%となっている。（表Ⅲ-9-1）

表Ⅲ-9-1 障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕

－愛の手帳の程度、愛の手帳以外の手帳所持の有無〔複数回答〕別

	総数	利用している	重度障害者等（重度障害者等）	居宅介護（ホームヘルプ）等	短期入所（ショートステイ）	就労移行支援（A型・B型）、就労定着支援、生活介護	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	自立生活援助（グループホーム）、	共同生活援助（グループホーム）、	補装具費支給	相談、支援事業（計画相談、地域移行支援、地域定着支援）	筆記者の派遣等	意思疎通支援事業（手話通訳、要約）	日常生活用具給付等事業	移動支援事業	その他	利用していない	無回答
総数	100.0 (693)	51.9	11.4	15.6	27.3	12.0	2.9	17.2	0.1	1.9	20.1	0.7	41.8	6.2				
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (32)	90.6	40.6	53.1	34.4	9.4	28.1	34.4	-	28.1	25.0	-	9.4	-			
	2度	100.0 (160)	83.1	26.9	35.0	41.3	11.9	5.0	32.5	-	1.9	41.9	1.3	13.1	3.8			
	3度	100.0 (152)	56.6	4.6	11.2	37.5	17.1	1.3	15.8	-	-	25.7	0.7	38.2	5.3			
	4度	100.0 (340)	32.4	4.7	5.0	16.2	10.3	0.3	9.4	0.3	0.3	7.4	0.3	59.4	8.2			
（愛の手帳以外の手帳所持の有無別）	手帳あり	100.0 (188)	61.2	19.7	21.8	33.0	11.2	10.6	21.3	-	6.9	20.2	0.5	33.5	5.3			
	身体障害者手帳	100.0 (146)	64.4	24.7	26.0	32.2	9.6	13.7	20.5	-	8.2	24.7	0.7	30.8	4.8			
	精神障害者保健福祉手帳	100.0 (42)	47.6	4.8	7.1	31.0	14.3	-	21.4	-	2.4	7.1	-	45.2	7.1			
	手帳なし	100.0 (489)	48.7	8.6	13.5	24.9	12.7	-	15.5	0.2	-	20.2	0.8	45.8	5.5			

注）愛の手帳以外の手帳所持の有無〔複数回答〕別のうち、「戦傷病者手帳」は該当者がいないため、「その他」は母数が少数のため、省略した。

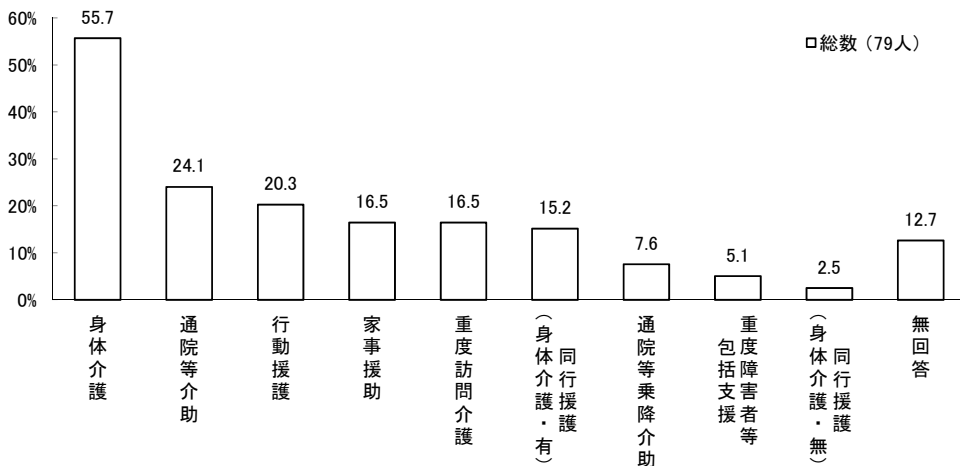
(3) 居宅介護等のサービスの種類〔複数回答〕

※居宅介護（ホームヘルプ）等（重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む）を利用している 79 人が対象

利用した居宅介護等のサービスの種類は「身体介護」が最も高く 55.7%

障害者総合支援法による障害福祉サービスで居宅介護等を利用した人に、利用したサービスの種類を聞いたところ、「身体介護」が 55.7%で最も高く、また、「通院等介助」が 24.1%となっている。（図Ⅲ-9-2）

図Ⅲ-9-2 居宅介護等のサービスの種類〔複数回答〕



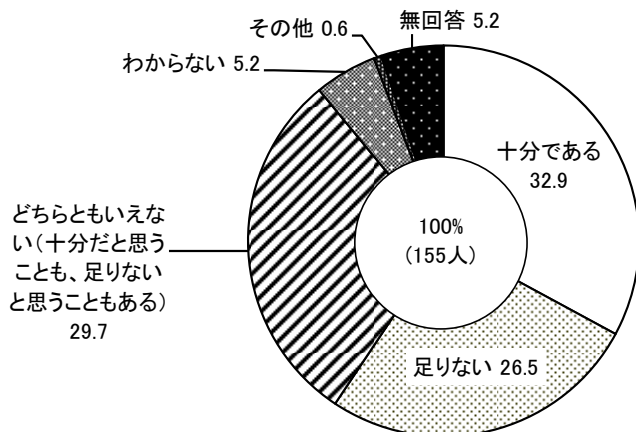
(4) サービス支給量は十分か（居宅介護等、短期入所）

※居宅介護（ホームヘルプ）等（重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む）、短期入所（ショートステイ）を利用している 155 人が対象

サービス支給量が「十分である」と思っている人の割合が 32.9%

障害者総合支援法による障害福祉サービスで居宅介護（ホームヘルプ）等及び短期入所（ショートステイ）を利用した人に支給量は十分か聞いたところ、「十分である」の割合が 32.9%、「どちらともいえない（十分だと思うことも、足りないと思うこともある）」が 29.7%、「足りない」が 26.5%となっている。（図Ⅲ-9-3）

図Ⅲ-9-3 サービス支給量は十分か（居宅介護等、短期入所）



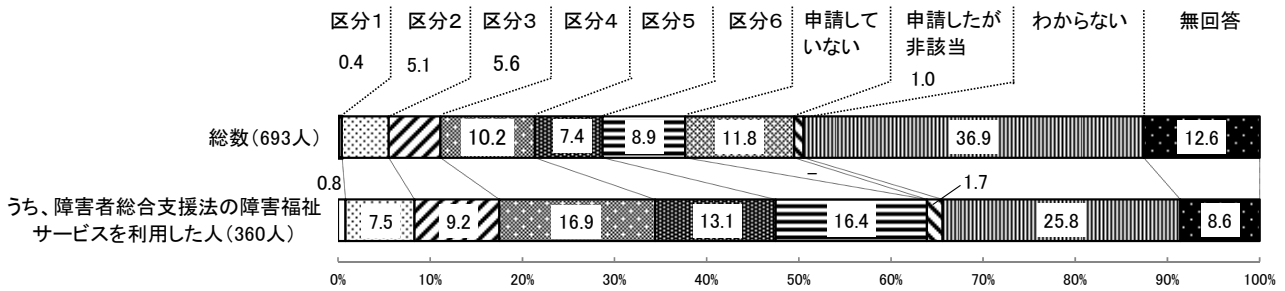
(5) 障害者総合支援法における障害支援区分

※在宅で生活している（グループホームを含む）693人が対象

しょうがいしえんくぶん くぶん わりあい
障害支援区分は「区分4」の割合が10.2%

障害支援区分を聞いたところ、「区分4」の割合が10.2%となっている。一方で、「申請していない」が11.8%、「わからない」が36.9%となっている。（図Ⅲ-9-4）

図Ⅲ-9-4 障害者総合支援法における障害支援区分



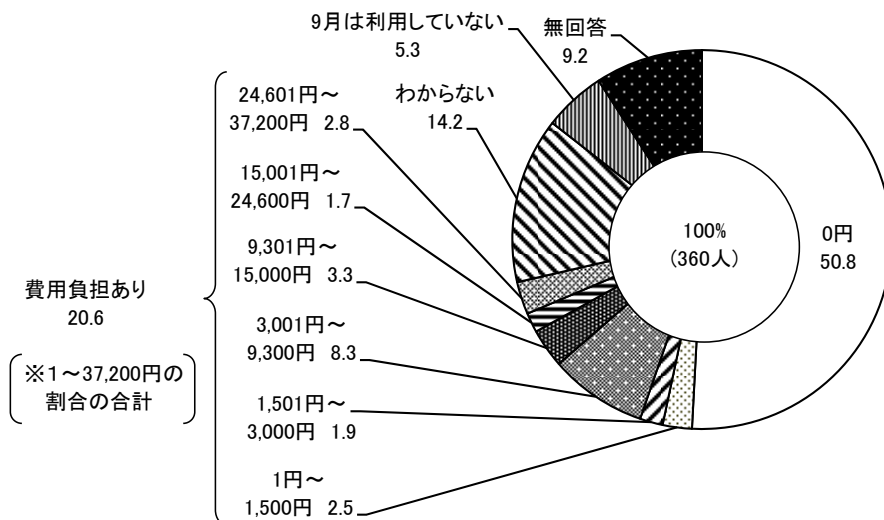
(6) 障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担

※過去1年間に障害者総合支援法のサービスを利用した360人が対象

しょうがいしゃそうごうしえんほう しょうがいふくし ひょうふたん えん わりあい
障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担は「0円」の割合が50.8%

障害者総合支援法による障害福祉サービスの平成30年9月の費用負担額（食費等実費負担は除く）を聞いたところ、「0円」の割合が50.8%で最も高くなっている。一方で、「費用負担がある人（1円～37,200円）」の割合が20.6%となっている。（図Ⅲ-9-5）

図Ⅲ-9-5 障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担



(7) 日常生活自立支援事業の利用意向

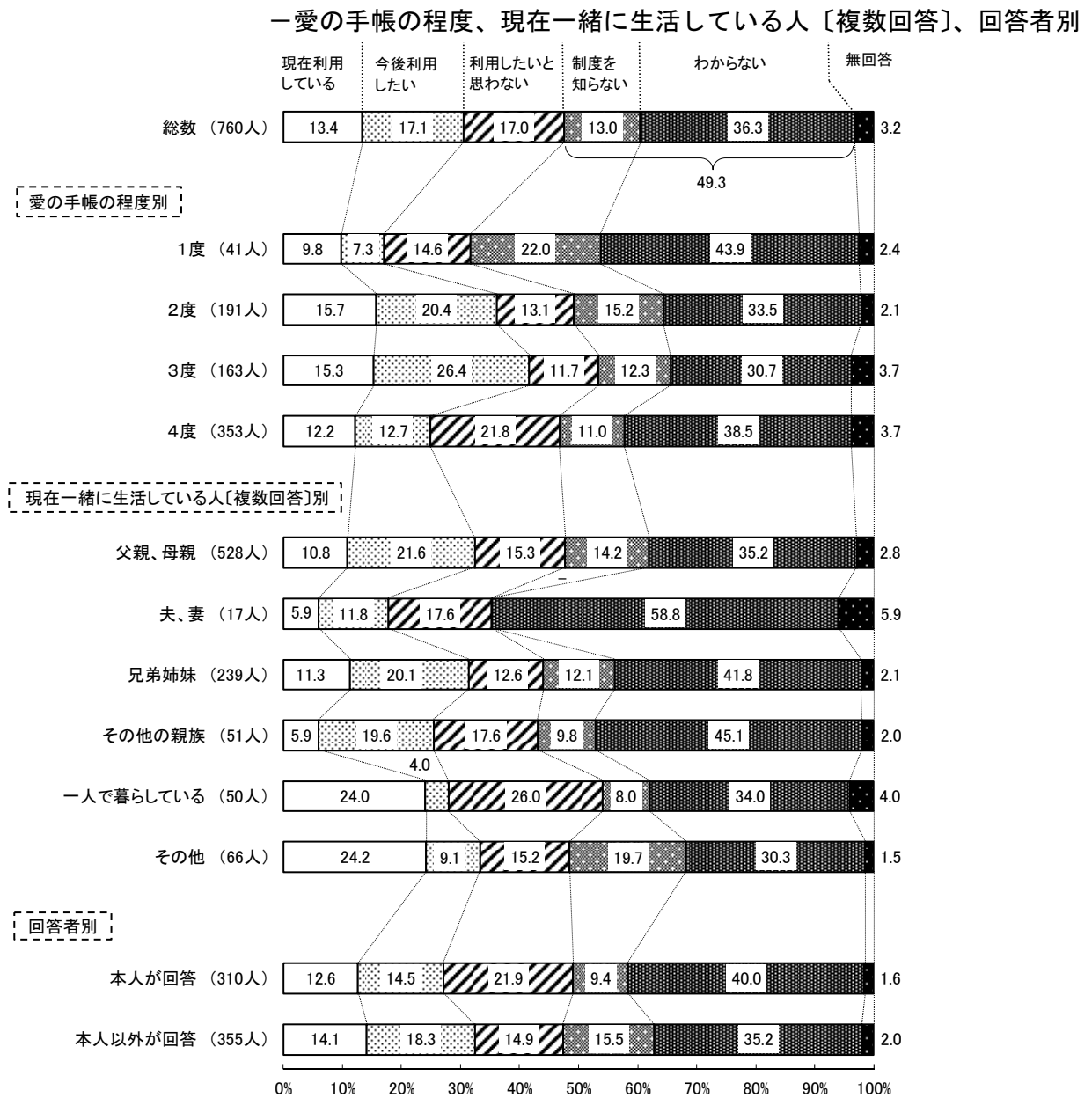
—愛の手帳の程度、現在一緒に生活している人〔複数回答〕、回答者別

日常生活自立支援事業を「今後利用したい」人の割合は17.1%

日常生活自立支援事業を利用するつもりがあるか聞いたところ、「わからない」の割合が36.3%で、「制度を知らない」(13.0%)と合わせると約5割となっている。一方で、「今後利用したい」の割合が17.1%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、「今後利用したい」の割合は、3度が26.4%となっている。(図Ⅲ-9-6)

図Ⅲ-9-6 日常生活自立支援事業の利用意向



注1) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

2) 「現在一緒に生活している人」は在宅者を対象とした設問のため、総数は693人である。

なお、「その他」は、主にグループホームの他の入居者や職員である。

3) 「現在一緒に生活している人」が「子供」については、母数が少数のため省略した。

(8) 成年後見制度の利用意向

—愛の手帳の程度、現在一緒に生活している人〔複数回答〕、回答者別

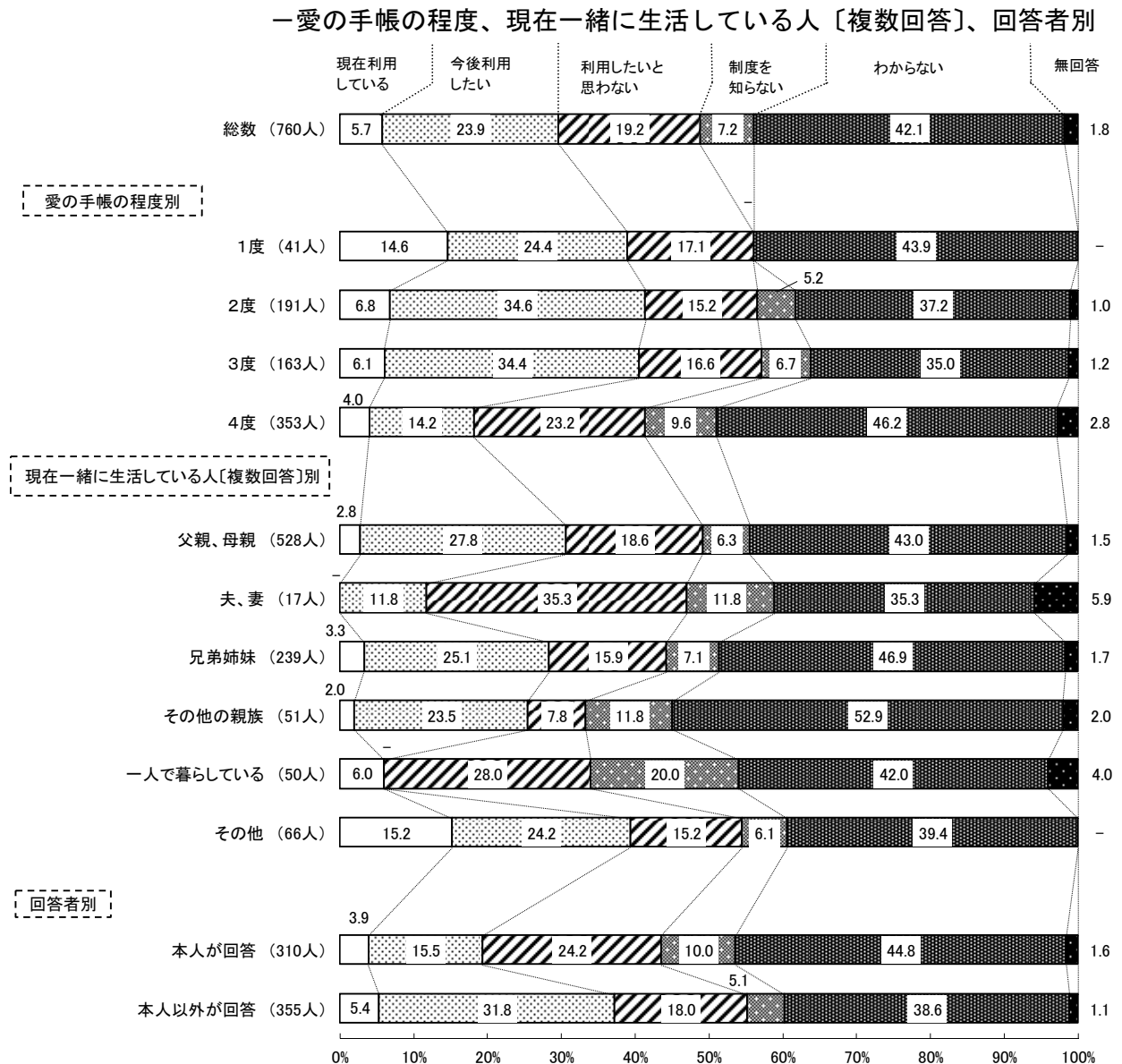
成年後見制度を「今後利用したい」人の割合は23.9%

成年後見制度を利用するつもりがあるか聞いたところ、「わからない」の割合が42.1%、「今後利用したい」が23.9%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、「今後利用したい」の割合は、2度及び3度で3割を超えている(34.6%、34.4%)。

回答者別にみると、「今後利用したい」の割合は、本人以外が回答した場合には31.8%、本人が回答した場合には15.5%となっている。(図Ⅲ-9-7)

図Ⅲ-9-7 成年後見制度の利用意向



注1) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

2) 「現在一緒に生活している人」は在宅者を対象とした設問のため、総数は693人である。

なお、「その他」は、主にグループホームの他の入居者や職員である。

3) 「現在一緒に生活している人」が「子供」については、母数が少数のため省略した。

(9) 介護保険制度の利用の有無一年齢階級別

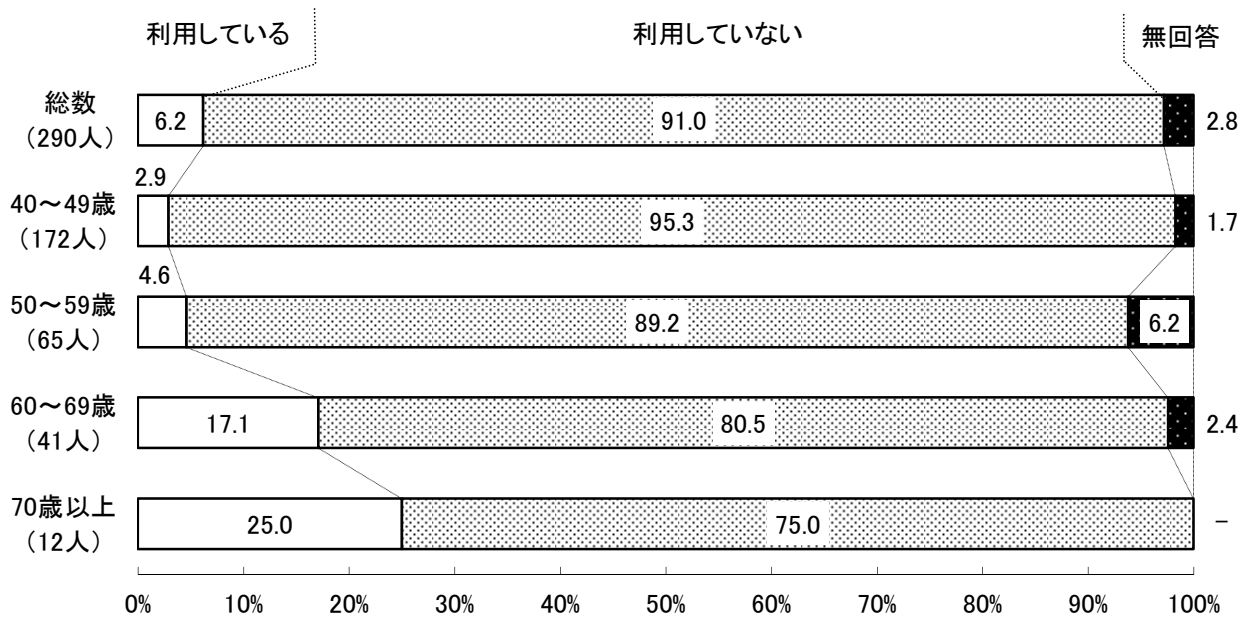
※調査日基準日現在 40 歳以上の 290 人が対象

介護保険制度を「利用している」人の割合は 6.2%

介護保険制度の利用状況を聞いたところ、「利用している」の割合が 6.2%、「利用していない」が 91.0%となっている。

年齢階級別にみると、「利用している」の割合は、70 歳以上が 25.0%、60 代が 17.1%となっている。（図Ⅲ-9-8）

図Ⅲ-9-8 介護保険制度の利用の有無一年齢階級別



10 施設入所（施設入所者対象）

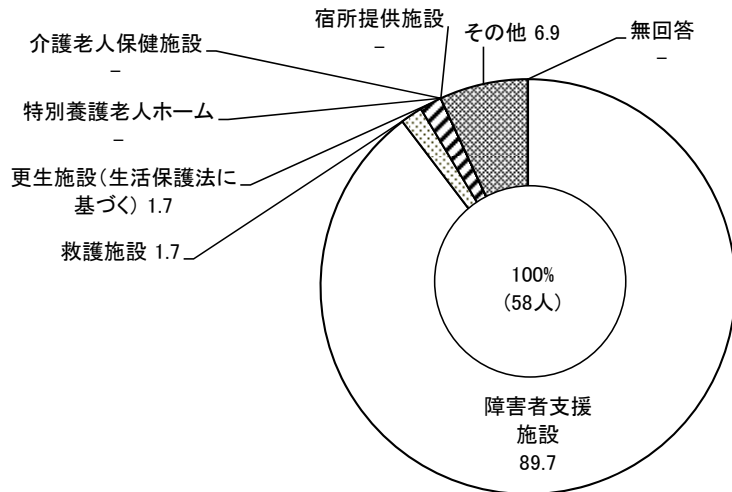
※調査基準日現在、施設に入所している 58 人が対象

（１）入所している施設の種類の種類

現在入所している施設は「障害者支援施設」の割合が最も高く 89.7%

調査基準日現在、入所している施設を聞いたところ、「障害者支援施設」の割合が 89.7%で最も高くなっている。（図Ⅲ-10-1）

図Ⅲ-10-1 入所している施設の種類の種類

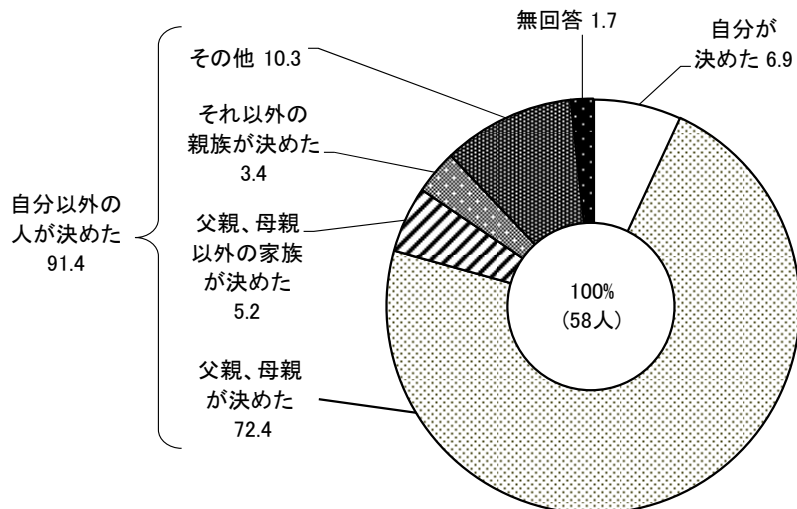


（２）入所を決めた人とその理由

入所を決めた人は「自分以外の人」の割合が約9割

入所を決めた人は誰か聞いたところ、「自分が決めた」割合が 6.9%となっている。「自分以外の人が決めた」割合は約9割となっており、そのうち、「父親、母親が決めた」割合が 72.4%となっている。（図Ⅲ-10-2）

図Ⅲ-10-2 入所を決めた人とその理由



注) 自分で施設入所を決めた人の理由については、母数が少数のため、省略した。

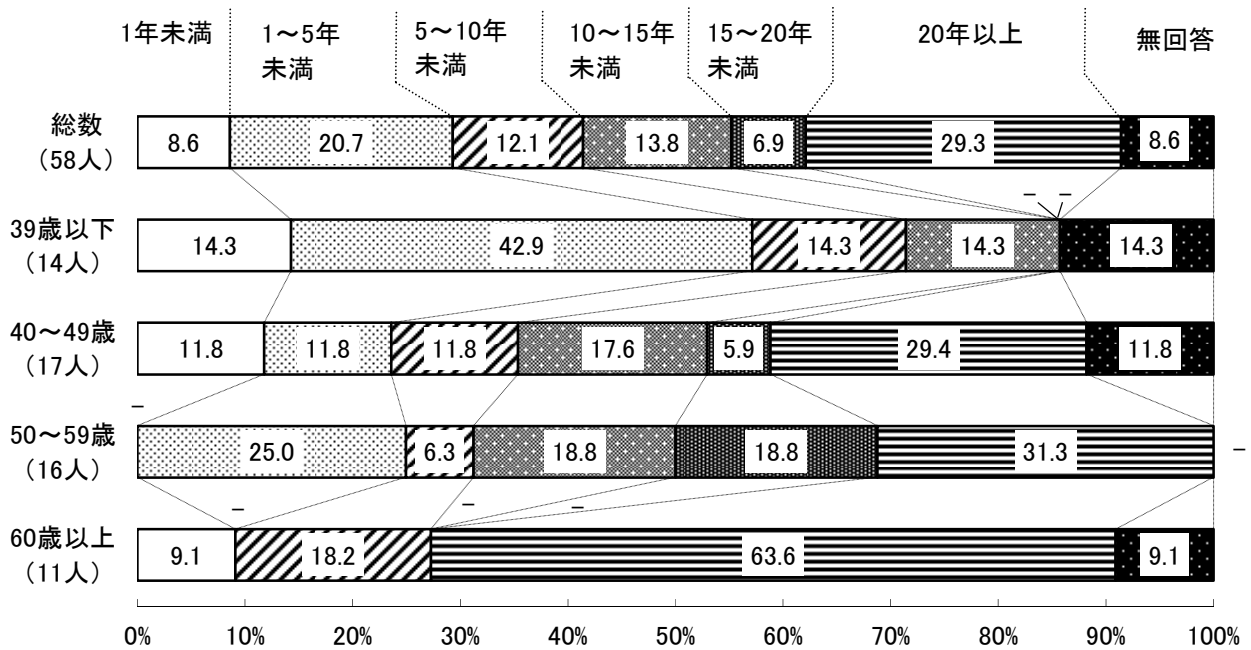
(3) 入所年数一年齢階級別

今の施設に入ってからいままの年数ねんすうは、「20年以上ねんいじょう」の割合わりあいが29.3%

今の施設に入ってからいまの年数ねんすうを聞いたところ、「20年以上ねんいじょう」の割合わりあいが29.3%、「1～5年未満いちごねんみまん」が20.7%となっている。

年齢階級別ねんいせいにみると、「1～5年未満いちごねんみまん」の割合わりあいは30代さんじゅうだいが42.9%となっている。「20年以上ねんいじょう」の割合わりあいは60歳以上ろくじゅうさいいじょうが63.6%で最も高たかくなっている。(図Ⅲ-10-3)

図Ⅲ-10-3 入所年数一年齢階級別

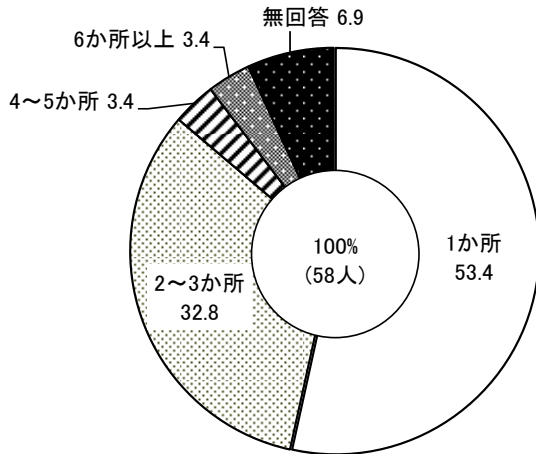


(4) 入所施設数

今までに入った施設は「1か所」の割合が最も高く53.4%

今までに入った施設数（今の施設も含む）を聞いたところ、「1か所」の割合が53.4%で最も高く、また、「2～3か所」が32.8%となっている。（図Ⅲ-10-4）

図Ⅲ-10-4 入所施設数



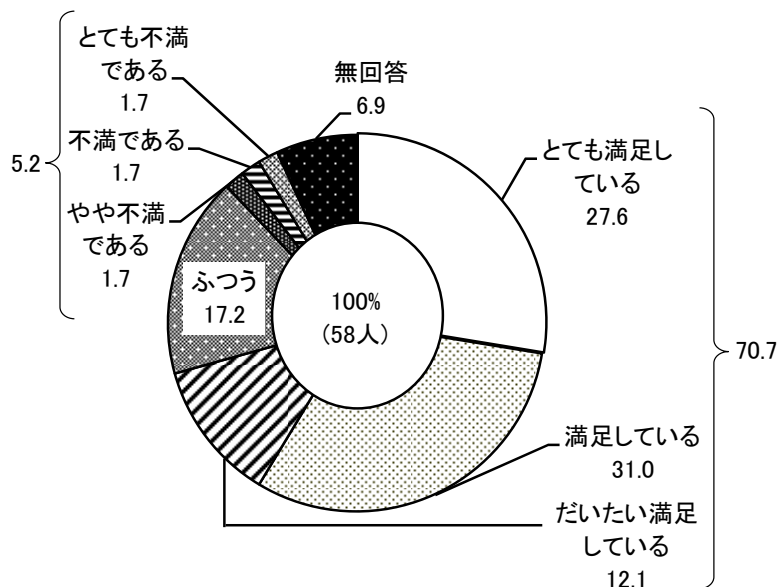
(5) 施設での生活に満足しているか

施設での生活に満足している（「とても満足している」+「満足している」+「だいたい満足している」）割合は70.7%。そのうち、「とても満足している」割合は27.6%

今の施設での生活に満足しているか聞いたところ、「とても満足している」と答えた割合は27.6%で、「満足している」(31.0%)及び「だいたい満足している」(12.1%)と合わせると、70.7%となっている。

一方で、不満である（「やや不満である」(1.7%)、「不満である」(1.7%)及び「とても不満である」(1.7%)の合計）と答えた割合は5.2%となっている。（図Ⅲ-10-5）

図Ⅲ-10-5 施設での生活に満足しているか



11 その他の福祉サービス等

(1) 将来暮らしたいところ一年齢階級、回答者、現在の生活の場別

将来暮らしたいところは「^{しょうらい}家族が住んでいる家」の割合が37.2%

将来どこで暮らしたいか聞いたところ、「家族が住んでいる家」の割合が37.2%、「グループホーム」が19.2%となっている。

年齢階級別にみると、「施設に入所して生活」の割合は、60歳以上が30.2%となっている。

現在の生活の場別にみると、現在施設に入所している人では「施設に入所して生活」の割合が6割を超えている。（表Ⅲ-11-1）

表Ⅲ-11-1 将来暮らしたいところ一年齢階級、回答者、現在の生活の場別

		総数	施設に入所して生活	家族が住んでいる家	グループホーム	等（施設から独立して生活を除く） グループホーム	その他	わからない	無回答
総数		100.0 (760)	13.7	37.2	19.2	10.1	1.4	16.2	2.1
年齢階級別	19歳以下	100.0 (60)	13.3	40.0	11.7	16.7	1.7	15.0	1.7
	20～29歳	100.0 (256)	7.0	44.1	18.4	13.7	0.8	14.5	1.6
	30～39歳	100.0 (154)	13.0	39.0	26.0	6.5	-	13.6	1.9
	40～49歳	100.0 (172)	17.4	29.7	19.2	8.1	3.5	20.3	1.7
	50～59歳	100.0 (65)	18.5	35.4	13.8	9.2	1.5	15.4	6.2
	60歳以上	100.0 (53)	30.2	22.6	18.9	3.8	1.9	20.8	1.9
回答者別	本人が回答	100.0 (310)	5.8	38.1	14.8	17.4	2.6	19.7	1.6
	本人以外が回答	100.0 (355)	22.0	37.5	21.4	3.4	0.6	13.8	1.4
現在の生活の場別	在宅で生活している (グループホームを含む)	100.0 (693)	10.0	39.7	20.2	10.8	1.3	16.2	1.9
	施設に入所している	100.0 (58)	60.3	8.6	5.2	3.4	1.7	17.2	3.4

注) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(2) 将来暮らしたいところ—愛の手帳の程度、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

将来暮らしたいところを愛の手帳の程度別にみると、「施設に入所して生活」の割合は、2度が33.5%となっている。

現在一緒に生活している人別にみると、「家族から独立して生活（施設入所、グループホーム等での生活を除く）」の割合は、一人で暮らしている人が26.0%となっている。（表Ⅲ-11-2）

表Ⅲ-11-2 将来暮らしたいところ

—愛の手帳の程度、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

		総数	施設に入所して生活	家族が住んでいる家	グループホーム	等（施設入所、グループホームでの生活を除く）	家族から独立して生活	その他	わからない	無回答
総数		100.0 (760)	13.7	37.2	19.2	10.1	1.4	16.2	2.1	
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (41)	17.1	41.5	14.6	-	-	24.4	2.4	
	2度	100.0 (191)	<u>33.5</u>	30.4	20.4	2.1	0.5	11.5	1.6	
	3度	100.0 (163)	6.7	39.3	30.7	5.5	-	16.0	1.8	
	4度	100.0 (353)	5.4	39.4	14.4	17.8	2.8	17.8	2.3	
現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	父親、母親	100.0 (528)	11.4	45.6	17.0	8.5	0.6	15.2	1.7	
	夫、妻	100.0 (17)	5.9	70.6	-	-	-	17.6	5.9	
	兄弟姉妹	100.0 (239)	9.6	44.4	14.6	9.6	0.4	19.2	2.1	
	その他の親族	100.0 (51)	5.9	47.1	17.6	13.7	-	13.7	2.0	
	一人で暮らしている	100.0 (50)	4.0	16.0	14.0	<u>26.0</u>	8.0	30.0	2.0	
	その他	100.0 (66)	3.0	4.5	57.6	16.7	3.0	13.6	1.5	

注1) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

2) 「現在一緒に生活している人」は在宅者を対象とした設問のため、総数は693人である。

なお、「その他」は、主にグループホームの他の入居者や職員である。

3) 「現在一緒に生活している人」が「子供」については、母数が少数のため、省略した。

(3) 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕

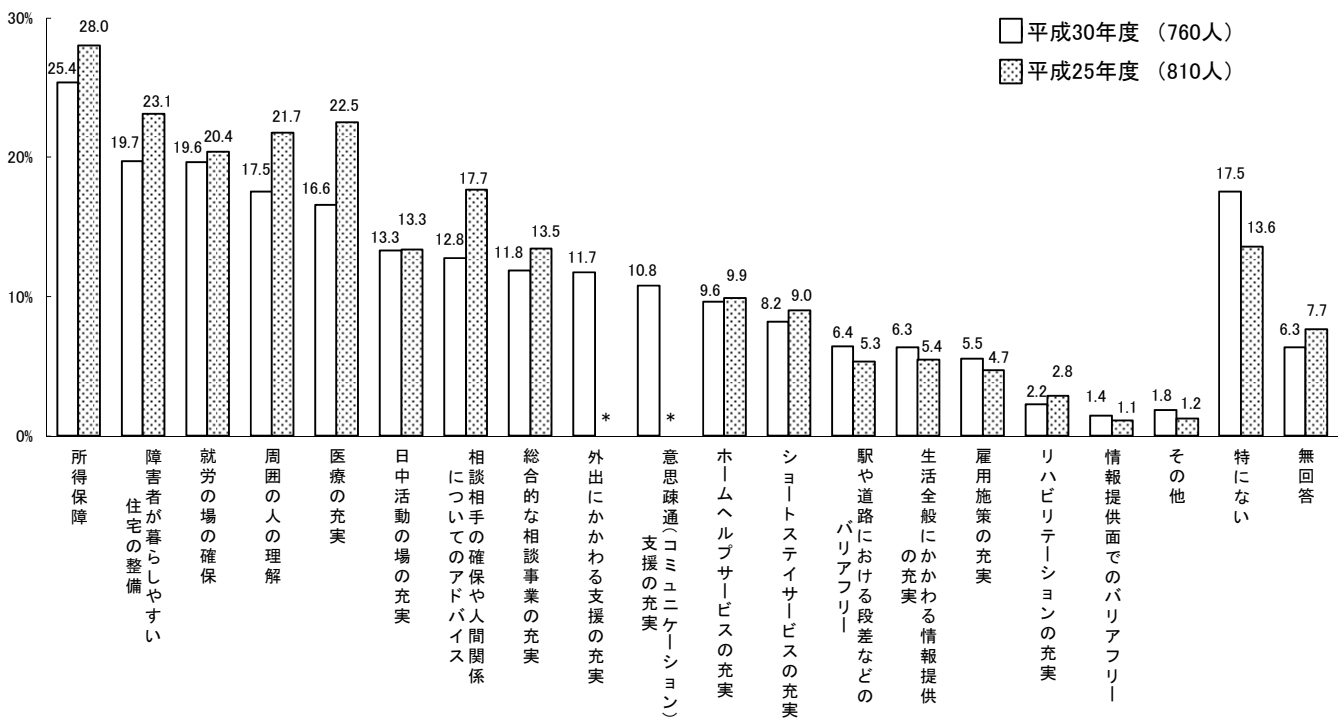
平成25年度調査よりも「医療の充実」の割合が5.9ポイント減少

地域生活をしたり、しようとする上で、必要な福祉サービス等は何か聞いたところ、「所得保障」の割合が25.4%、「障害者が暮らしやすい住宅の整備」が19.7%、「就労の場の確保」が19.6%となっている。

平成25年度調査と比べて、「医療の充実」は5.9ポイント減少し、16.6%となっている。

(図Ⅲ-11-1)

図Ⅲ-11-1 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕



注) *は、平成25年度調査では選択肢を設けていなかった。

(4) 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別

地域生活をする上で必要な福祉サービス等について年齢階級別にみると、50代及び60歳以上では「ホームヘルプサービスの充実」の割合がそれぞれ16.9%、18.9%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、1度では「日中活動の場の充実」及び「医療の充実」の割合がいずれも36.6%となっている。

平日の日中主に過ごしたところ別にみると、「ショートステイサービスの充実」の割合は、「通所施設（生活介護、デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く）」が22.7%となっている。（表Ⅲ-11-3）

表Ⅲ-11-3 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別

		総数	障害者が暮らしやすい住宅の整備	駅や道路における段差などのバリアフリー	就労の場の確保	雇用施策の充実	所得保障	総合的な相談事業の充実	ホームヘルプサービスの充実	日中活動の場の充実	ショートステイサービスの充実	外出にかかわる支援の充実
総数		100.0 (760)	19.7	6.4	19.6	5.5	25.4	11.8	9.6	13.3	8.2	11.7
年齢階級別	19歳以下	100.0 (60)	20.0	3.3	30.0	8.3	25.0	15.0	5.0	11.7	11.7	13.3
	20～29歳	100.0 (256)	23.0	5.1	21.5	6.6	32.0	10.9	8.2	16.0	10.2	12.1
	30～39歳	100.0 (154)	23.4	5.8	20.1	5.8	22.1	12.3	7.1	16.2	9.7	14.9
	40～49歳	100.0 (172)	14.5	6.4	18.6	3.5	20.9	12.2	9.9	11.6	5.8	13.4
	50～59歳	100.0 (65)	13.8	10.8	16.9	6.2	20.0	9.2	<u>16.9</u>	4.6	3.1	3.1
	60歳以上	100.0 (53)	17.0	13.2	3.8	1.9	24.5	13.2	<u>18.9</u>	9.4	3.8	3.8
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (41)	19.5	14.6	-	2.4	14.6	7.3	17.1	<u>36.6</u>	26.8	14.6
	2度	100.0 (191)	22.5	6.3	8.4	0.5	26.2	11.5	16.8	20.9	19.4	19.4
	3度	100.0 (163)	21.5	4.3	23.3	3.1	23.3	15.3	8.6	15.3	5.5	14.1
	4度	100.0 (353)	17.8	6.5	26.3	9.9	26.9	10.5	5.4	5.9	1.1	6.5
主に過ごしたところ別	自分の家	100.0 (164)	16.5	8.5	18.3	6.7	22.6	8.5	4.3	5.5	5.5	5.5
	職場(福祉的就労の施設を除く)	100.0 (179)	22.3	3.4	27.9	7.8	25.1	16.2	3.4	6.1	0.6	6.1
	職場(福祉的就労の施設)	100.0 (195)	21.5	7.7	25.1	5.1	29.2	11.8	16.4	11.8	9.7	20.0
	学校	100.0 (20)	5.0	-	45.0	15.0	15.0	10.0	5.0	25.0	5.0	15.0
	通所施設(生活介護、デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く)	100.0 (128)	25.8	7.8	4.7	3.1	30.5	8.6	16.4	33.6	<u>22.7</u>	17.2
	入所施設	100.0 (51)	7.8	5.9	2.0	-	9.8	15.7	9.8	13.7	3.9	3.9

注) 平日の日中主に過ごしたところ別のうち、「その他」は、母数が少数のため、省略した。(次ページへ続く)

表Ⅲ-11-3 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕
 一年齢階級、愛の手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別〔続〕

		シ ョ ン 支 援 の 充 実	意 思 疎 通 （ コ ミ ュ ニ ケ ー	フ リ ー 情 報 提 供 面 で の バ リ ア	情 報 提 供 の 充 実	生 活 全 般 に か か わ る	に つ い て の ア ド バ イ ス	相 談 相 手 の 確 保 や 人 間 関 係	周 圍 の 人 の 理 解	医 療 の 充 実	充 実 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン の	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数		10.8	1.4	6.3	12.8	17.5	16.6	2.2	1.8	17.5	6.3			
年 齢 階 級 別	19歳以下	16.7	1.7	5.0	6.7	20.0	21.7	1.7	1.7	18.3	3.3			
	20～29歳	12.1	0.8	6.6	15.2	18.8	16.0	3.5	2.0	10.9	6.3			
	30～39歳	11.0	1.3	7.1	16.9	22.1	14.3	1.3	1.3	16.2	3.9			
	40～49歳	9.3	2.3	5.2	12.8	14.5	16.3	1.7	2.3	19.2	8.1			
	50～59歳	6.2	1.5	6.2	6.2	15.4	20.0	1.5	-	29.2	10.8			
	60歳以上	7.5	1.9	7.5	3.8	7.5	17.0	1.9	3.8	32.1	5.7			
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	7.3	-	4.9	2.4	12.2	<u>36.6</u>	4.9	2.4	14.6	7.3			
	2度	11.5	2.6	5.8	5.2	17.3	22.5	3.7	3.7	9.4	6.3			
	3度	17.2	1.2	6.1	13.5	17.2	15.3	1.2	1.8	15.3	5.5			
	4度	8.2	1.1	6.8	18.1	18.1	11.3	1.4	0.8	22.9	6.5			
主 に 過 ご し た と こ ろ 別	自分の家	12.8	0.6	6.7	16.5	20.1	12.8	1.8	1.8	24.4	6.7			
	職場(福祉的就労の施設を除く)	6.7	1.1	7.8	16.8	20.1	12.3	1.7	0.6	24.0	3.9			
	職場(福祉的就労の施設)	14.4	3.1	5.1	14.4	14.9	13.3	2.1	2.1	9.2	5.6			
	学校	20.0	-	-	15.0	10.0	30.0	-	5.0	15.0	5.0			
	通所施設(生活介護、デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く)	9.4	1.6	7.0	3.1	18.8	25.0	3.9	2.3	4.7	6.3			
	入所施設	7.8	-	3.9	3.9	9.8	29.4	3.9	3.9	35.3	11.8			

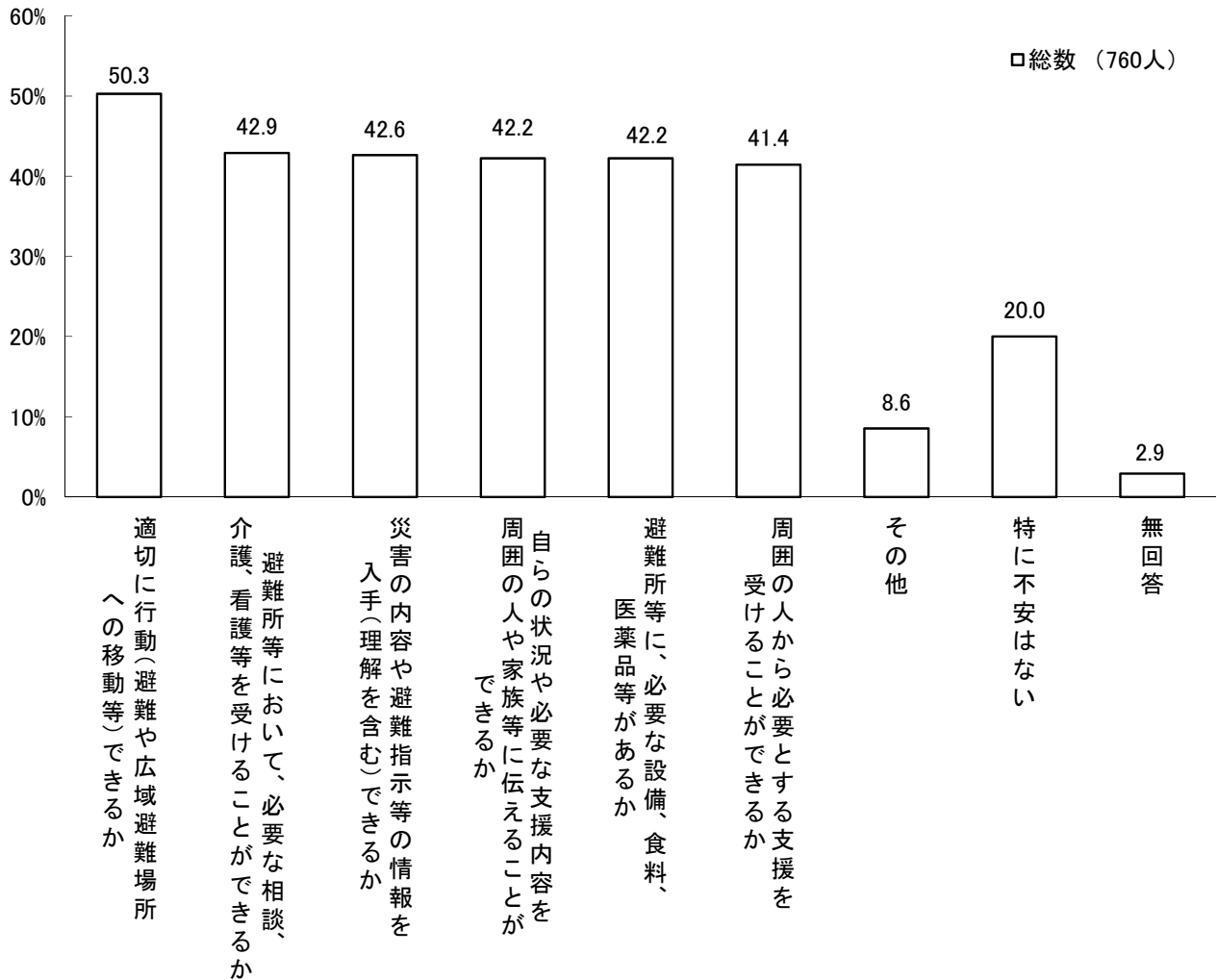
12 災害関係

(1) 災害時に不安を感じる事〔複数回答〕

災害時に不安を感じることは、「適切に行動（避難や広域避難場所への移動等）できるか」の割合が50.3%

災害時に不安を感じることを聞いたところ、「適切に行動（避難や広域避難場所への移動等）できるか」の割合が50.3%となっている。（図Ⅲ-12-1）

図Ⅲ-12-1 災害時に不安を感じる事〔複数回答〕



(2) 災害時に不安を感じる事〔複数回答〕－愛の手帳の程度、年齢階級別

災害時に不安を感じることを愛の手帳の程度別にみると、1度では「避難所等に、必要な設備、食料、医薬品等があるか」が63.4%、「避難所等において、必要な相談、介護、看護等を受けることができるか」が61.0%となっている。（表Ⅲ-12-1）

表Ⅲ-12-1 災害時に不安を感じる事〔複数回答〕－愛の手帳の程度、年齢階級別

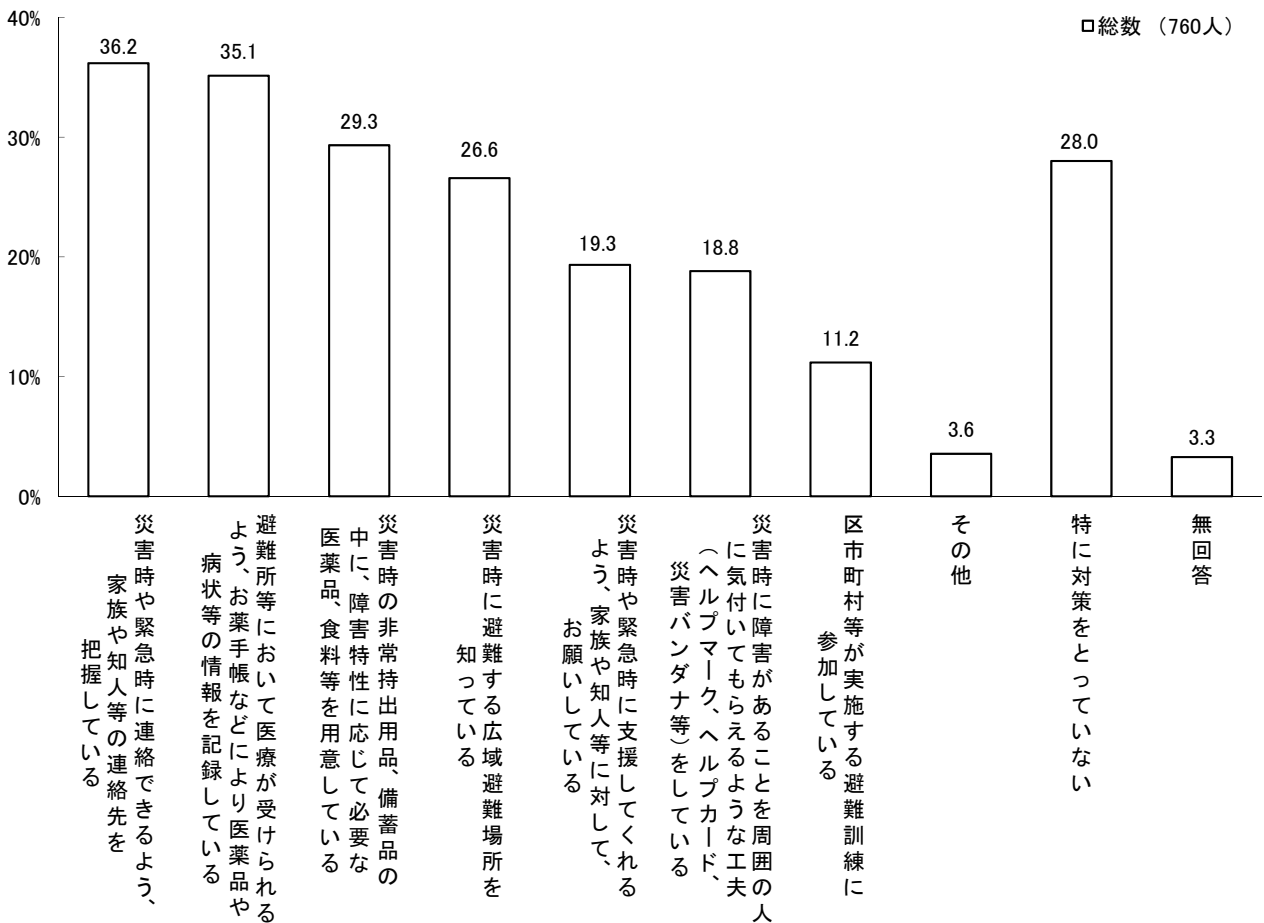
		総数	災害の内容や避難指示等の情報を入手（理解を含む）できるか	適切に行動（避難や広域避難場所への移動等）できるか	周囲の状況や必要な支援内容がわかるか	自らの状況や必要な支援内容がわかるか	周囲の状況や必要な支援内容がわかるか	避難所等において、必要な相談、介護、看護等を受けることができるか	避難所等に、必要な設備、食料、医薬品等があるか	その他	特に不安はない	無回答
総数		100.0 (760)	42.6	50.3	42.2	41.4	42.9	42.2	8.6	20.0	2.9	
年齢階級別	19歳以下	100.0 (60)	50.0	55.0	43.3	45.0	46.7	48.3	8.3	20.0	3.3	
	20～29歳	100.0 (256)	44.1	56.6	46.9	44.1	43.4	45.7	9.4	16.0	2.0	
	30～39歳	100.0 (154)	50.0	56.5	47.4	51.3	54.5	46.8	7.8	14.9	1.9	
	40～49歳	100.0 (172)	39.5	46.5	40.1	38.4	40.1	41.3	9.9	20.9	4.1	
	50～59歳	100.0 (65)	30.8	33.8	32.3	26.2	35.4	30.8	6.2	29.2	6.2	
	60歳以上	100.0 (53)	30.2	28.3	22.6	24.5	20.8	22.6	5.7	39.6	1.9	
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (41)	48.8	58.5	41.5	58.5	<u>61.0</u>	<u>63.4</u>	19.5	17.1	2.4	
	2度	100.0 (191)	45.5	59.2	49.2	58.6	60.2	53.4	12.6	12.6	2.1	
	3度	100.0 (163)	50.3	60.1	55.8	44.2	49.1	44.8	7.4	15.3	2.5	
	4度	100.0 (353)	37.4	40.5	32.9	29.5	28.6	32.9	5.7	25.5	3.4	

(3) 災害に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕

「災害時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している」の割合が36.2%。一方で、「特に対策をとっていない」の割合は28.0%

災害に備えて、障害特性に応じて特別な対策をとっているか聞いたところ、「災害時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している」の割合が36.2%、「避難所等において医療が受けられるよう、お薬手帳などにより医薬品や病状等の情報を記録している」が35.1%となっている。一方で、「特に対策をとっていない」の割合が28.0%となっている。（図Ⅲ-12-2）

図Ⅲ-12-2 災害に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕



(4) 災害に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度別

災害に備えて、障害特性に応じて特別な対策をとっているかを愛の手帳の程度別にみると、1度及び2度では「災害時の非常持出用品、備蓄品の中に、障害特性に応じて必要な医薬品、食料等を用意している」の割合がそれぞれ48.8%、36.1%、「避難所等において医療が受けられるよう、お薬手帳などにより医薬品や病状等の情報を記録している」の割合がそれぞれ51.2%、45.0%となっている。（表Ⅲ-12-2）

表Ⅲ-12-2 災害に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度別

		総数	災害時の非常持出用品、備蓄品の中に、障害特性に応じて必要な医薬品、食料等を用意している	避難所等において医療が受けられるよう、お薬手帳などにより医療品や病状等の情報を記録している	家族や知人等の連絡先を把握している	災害時や緊急時に支援してくれるよう、家族や知人等に対して、お願いしている	災害時に避難する広域避難場所を知っている	区市町村等が実施する避難訓練に参加している	ヘルプカード、災害バンドナ等）をしている	災害時に障害があることを周囲の人に気付いてもらえるよう工夫（ヘルプマーク、ヘルプカード）をしている	その他	特に対策をとっていない	無回答
総数		100.0 (760)	29.3	35.1	36.2	19.3	26.6	11.2	18.8	3.6	28.0	3.3	
年齢階級別	19歳以下	100.0 (60)	28.3	21.7	33.3	10.0	21.7	8.3	16.7	1.7	36.7	1.7	
	20～29歳	100.0 (256)	28.9	32.8	39.1	19.5	27.3	8.2	22.7	3.9	26.6	2.0	
	30～39歳	100.0 (154)	30.5	39.0	38.3	22.1	26.6	11.7	25.3	3.9	24.0	2.6	
	40～49歳	100.0 (172)	30.8	39.0	34.9	20.9	29.1	18.0	15.7	4.1	26.2	4.7	
	50～59歳	100.0 (65)	26.2	41.5	29.2	15.4	27.7	4.6	10.8	1.5	30.8	6.2	
	60歳以上	100.0 (53)	28.3	30.2	32.1	20.8	18.9	13.2	3.8	3.8	39.6	5.7	
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (41)	<u>48.8</u>	<u>51.2</u>	31.7	19.5	24.4	12.2	14.6	7.3	26.8	9.8	
	2度	100.0 (191)	<u>36.1</u>	<u>45.0</u>	28.8	17.3	30.4	12.6	26.7	5.8	22.5	2.6	
	3度	100.0 (163)	27.0	31.3	36.8	23.9	24.5	16.0	25.2	3.1	25.8	1.8	
	4度	100.0 (353)	25.2	30.3	41.1	18.7	26.3	8.5	12.5	2.3	30.9	3.1	